

平成28年度

能美市教育委員会の点検及び評価報告書

(平成27年度事業対象)

平成28年9月

能美市教育委員会

## はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）の一部改正により、平成 20 年 4 月から教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに市民に公開しなければならないこととなっています。

そこで、能美市教育委員会では、同法の規定により、平成 27 年度の取り組みについて、自らその状況を点検し評価を行い、金沢大学地域連携推進センター教授浅野秀重氏にご意見をいただき、まとめたものであります。

能美市教育委員会としては、点検・評価の実施を通して、施策の検証と改善を絶えず図りながら、教育施策の着実な推進に努めていきます。

平成 28 年 9 月

能美市教育委員会

## 目 次

### 1 事務の点検評価

#### 施策1 学校教育の充実

- 1 教職員の資質並びに授業力の向上・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 豊かな心，確かな学力の向上・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 3 教育支援の充実・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 4 教育環境の整備充実・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

#### 施策2 青少年の健全育成

- 1 青少年教育・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

#### 施策3 生涯学習の推進

- 1 これからの国際化社会の中で活躍できる人材の育成と国際化の推進 9
- 2 生涯学習活動・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- 3 公民館活動の推進・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- 4 社会教育施設の運営・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

#### 施策4 芸術・文化の振興

- 1 文化財の保存と活用・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
- 2 博物館の活動・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
- 3 文化振興・・・・・・・・・・・・・・・・ 31

#### 施策5 生涯スポーツの推進

- 1 競技スポーツの充実・強化・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
- 2 生涯スポーツの普及・振興・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
- 3 スポーツ施設の整備充実・・・・・・・・・・・・・・・・ 35

### 2 教育委員会会議及び教育委員の主な活動

- (1) 教育委員会会議・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
- (2) 平成27年度教育委員会会議開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
- (3) 教育委員の主な活動・・・・・・・・・・・・・・・・ 42

## 施策1 学校教育の充実

能美市教育施策の大綱に基づき、地域に根ざした学校づくり、次世代を切り拓く人材の育成をめざして、確かな学力、豊かな心、健やかな体をバランスよく育む学校教育活動を展開するための教育環境づくりを推進します。

また、学習指導要領に基づき、活用力を培う授業づくり、考える道徳・特別活動の充実、いじめを許さない活力ある学校組織づくりを目指します。

### 1 教職員の資質並びに授業力の向上

#### 平成27年度の主な取組

◇教職員研修事業（688千円）

能美市教育施策の大綱では、教職員の資質ならびに授業力の向上について、以下のよう  
に施策を進めることとしています。

確かな学力を育むために、学力調査の積極的な活用や各種研究会等の活性化により、教  
員の授業力向上を図り、子どもたちがわかる喜びを感じ、確実に学力が向上する授業づく  
りを進めます。

今日的な課題にあわせて、研修講座を開催することで、教職員の資質・授業力向上を目  
指します。また、各学校の学校研究を推進するために、大学等から講師を招聘し、学校研  
究を充実させることで、教職員の資質向上を目指します。

#### \*研修講座ならびに講師招聘一覧（別予算も含む）

学校名	内容	講師名	所属等	開催日
	夏季教職員研修講座	盛山 隆雄	筑波大学附属小学校	7月23日
	夏季教職員研修講座	漆澤 恭子	植草学園短期大学	8月17日
浜小	校内研究	盛山 隆雄	筑波大学附属小学校	5月1日
浜小	学び組織的	萩原 英子	安芸太田町教育委員会	4月17日
浜小	学び組織的	村川 雅弘	鳴門教育大学教職大学院	12月4日
福岡小	校内研究	青山 由紀	筑波大学附属小学校	8月26日
寺井小	校内研究	細水 保宏	明星大学	5月15日
湯野小	いしかわ道徳	加藤 宣行	筑波大学附属小学校	6月15日
湯野小	いしかわ道徳	新宮 弘識	淑徳大学	8月6日
湯野小	いしかわ道徳	宮島 哲也	富山県車椅子バスケットボールクラブ	11月5日
粟生小	I C T推進	清水 和久	金沢星稷大学	8月6日
辰口中央小	校内研究	石田 淳一	横浜国立大学	6月12日
宮竹小	校内研究	浮田 真弓	岡山大学大学院	5月28日
和気小	校内研究	吉永 幸司	前京都女子大学附属小学校	4月15日
根上中	校内研究	杉田 洋	國學院大學	2月15日

寺井中	校内研究	佐伯 英明	石川県立明和特別支援学校	5月26日
寺井中	I C T推進	高橋 純	富山大学	7月27日
辰口中	いしかわ道徳	白木みどり	金沢工業大学	5月21日 他

## 評価

- ・平成26年度において「教科研究員派遣事業」は終了しましたが、評価報告では夏季教職員研修等を充実させ、能美市の教員全体の力量向上・資質形成に資する取組を推進する必要があるとご意見がありました。このご意見を受け、今日的な課題である「特別支援教育の充実」「アクティブラーニングの推進」などを中心とした研修を実施しました。また、各学校が開催する研修会に関しても、市内の小中学校の教職員を対象としたことから、市内全域で研修内容を広げることができました。
- ・平成28年度については、教職員の自主研修組織である「能美市学校教育研究会」の機能強化と市教育センターの研修機能充実に向けて取り組んでいきます。

## ○意見

昨年度の評者の意見を前向きに受け止め、「特別支援教育の充実」「アクティブラーニングの推進」などを中心としながら、研修内容の充実を図られたことを感謝いたします。また、各学校が行う研修の参加対象を市内の各学校へと広げた取組も、能美市全体の教育実践の水準の全体的な向上を図ることにつながる可能性を持つものであると思います。こうした取組は「チーム学校」という考え方につながるものと思われるので、今後とも地道な継続・拡充を期待いたします。そうした成果は、必ずや児童・生徒のよりよい成長・発達に寄与するものと思います。

## 2 豊かな心，確かな学力の向上

### 平成27年度の主な取組

#### ◇Nomi フォローアップスクール事業（1,193千円）

能美市教育施策の大綱では、児童生徒に対して確かな学力を育む教育の充実について、以下のように施策を進めることとしています。

変化の激しい時代を子どもたちがたくましく生き抜くために、学ぶ楽しさを感じさせながら、基礎的・基本的な知識・技能を習得させるとともに、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力などの能力を育み、子どもたちが主体的・能動的に学習に取り組むための教育を充実させます。

本市では、平成20年度より市内の小学校4・5・6年生の希望者に対し、根上・寺井・辰口地区の3会場で地域の人材を活用し、土曜日に実施しています。主に算数科を通して自学自習をモットーに学習習慣の定着、学力向上を目指します。

\*会 場           根上地区 根上学習センター  
                  寺井地区 寺井図書館

辰口地区 辰口図書館

\* 講師数 22 名

\* 参加児童数の推移（1学期の申込状況）

	根上地区	寺井地区	辰口地区	合計
平成 20 年度	34	48	51	133
平成 21 年度	43	48	56	147
平成 22 年度	57	42	36	135
平成 23 年度	47	59	49	155
平成 24 年度	38	53	47	138
平成 25 年度	39	45	42	126
平成 26 年度	31	28	60	119
平成 27 年度	27	21	25	73

評価

- ・平成 27 年度は参加申し込み数は減少しましたが、参加した児童やその保護者からの事後アンケートでは、「授業でわかりにくかったことがわかるようになった」「規則正しい生活を送ることができるようになった」「自分にあった家庭学習の方法を見つけることができた」など肯定的な意見が多くありました。
- ・講師として参加していただいている地域人材（退職教員・地域の有識者など）の方からは「地域貢献につながる」「児童と接することで元気が出る」との声もあり、今後も継続していきたいと考えます。
- ・平成 28 年度以降は、参加しやすさと地域連携強化を目指して、対象学年を 3 年生以上とし、会場についても小学校 8 校の公民館等で実施することとしています。

◇心の教育（人間関係力）推進事業（2,739 千円）

「心の教育推進事業」として、道徳教育・特別活動を各学校での重要な領域と位置づけ、すべての教育活動をトータルに進めていくことが大切であると考えます。

昨今、人間関係づくり（人間関係力）の未熟さなどが原因となり、いじめ・不登校などの生徒指導上の問題が発生したり、規範意識やモラルの低下が叫ばれたりしています。より良い学校生活と友達づくりのための Q U アンケートを小学校 4 年生から中学校 3 年生までの全員に実施し、児童生徒一人一人の成長とすべての教育活動の要としての「学級づくり」に有効に活用し、心の教育のさらなる充実を図ります。

- \* 目的 一人一人の児童生徒の内面をつかむためにアンケートを行い、人間関係力の醸成、親和的な学級集団づくりを目指す。
- \* 対象学年 小学校 4 年生～中学校 3 年生全員
- \* 実施回数 年間 2 回（6 月・11 月）
- \* 実績 「親和的な学級」に属する学級数の割合

	6月実施	11月実施
平成23年度	38%	54%
平成24年度	52%	61%
平成25年度	55%	64%
平成26年度	49%	54%
平成27年度	50%	54%

※平成26・27年度は評価方法に変更あり

## 評価

- ・平成26年度の評価報告では、豊かな人間関係を形成する能力を高めていくことは「社会人基礎力」の考えと合致するとのご意見をいただきました。QUアンケートの結果は学級集団の実態把握にとっても有効であり、学校組織・学級担任の指導の手立てを検証し、人間関係力を高める取組を充実させています。
- ・本市においても、いじめや不登校に関する問題は学校教育の課題であり、本市のいじめ防止基本方針においても、QUアンケートを積極的に活用することとなっています。いじめ・不登校問題に関して早期発見・早期対応・未然防止のために今後も有効活用していきたいと考えます。

## ○意見

まず、Nomi フォローアップスクール事業ですが、参加児童やその保護者さらに講師として参加の方々から肯定的な意見が寄せられているように、参加人数の多寡と言うよりは、地域ぐるみで「地域の子どもを育てる」という環境づくりに意義があると思います。しかも、会場を公民館等にするという企画も、いわゆる「学社連携」の姿を形にしたものと受け止めています。

住民の経験という広義の意味の「学習の成果」を活かす機会を、この事業が、その舞台を公民館が提供するというものであり、改善を加えながら児童にとっても関係する大人にとっても「学ぶ楽しさ」「学ぶ喜び」をともに実感できる取組であるよう願っています。

心の教育（人間関係力）推進事業についてですが、「親和的な学級づくり」の取組を通じて、児童・生徒の間に励まし合い、学び合い、高め合い、支え合いという雰囲気が創られるようお願いしたいものです。こうした雰囲気づくりが、人として互いに尊重し合うことの大切さ、いじめはいけないことなんだ、学校って楽しく面白いところなんだ、ということを実感できるようになるのではないかと思います。

## 3 教育支援の充実

### 平成27年度の主な取組

◇特別支援教育支援員配置事業（27,311千円）

能美市教育施策の大綱では、特別な支援を必要とする子どもたちの主体的な社会参加や自立を目指し、一人一人のニーズに応じた教育の充実に努めますと方向性を示し

ています。現在、市内の小中学校においても、学習障害、注意欠陥・多動性障害、高機能自閉症など、発達障害またはその疑いのある児童生徒が在籍しています。

特別な支援を必要とする児童生徒や周囲の児童生徒への学びやすさや居場所づくりなどのためにも、特別支援教育支援員の役割は重要です。

\*特別支援教育支援員配置人数

	小学校	中学校	合計
平成 22 年度	11	2	13
平成 23 年度	14	2	16
平成 24 年度	16	3	19
平成 25 年度	19	3	22
平成 26 年度	20	5	25
平成 27 年度	21	5	26

**評価**

- ・本市の小中学校は、特別支援教育支援員の配置により、個のニーズに合わせた指導が丁寧に行われています。また、特別な支援を必要とする児童生徒数も増加傾向にあります。さらには、平成 26 年度の評価報告では、支援員への研修の充実が必要であるとのご意見をいただいております。これらのことから、市子ども発達支援センターとの連携を重視し、特別支援教育支援員に対する研修を充実させています。
- ・また、平成 28 年 4 月より、障害者差別解消法も施行されることから、学校教育においても「合理的配慮の基礎となる環境整備」および児童生徒個人への「合理的配慮」が求められることから、さらに特別支援教育の充実に向けて取り組んでいく必要があります。
- ・平成 28 年度は、特別支援教育支援員数を 29 名に増員し充実を図っていきます。

○意見

市の教育施策の大綱に基づきながら、「特別な支援を必要とする子どもたちの主体的な社会参加や自立を目指し、一人ひとりのニーズに応じた教育の充実をめぐる」一環として、学習障害、注意欠陥・多動性障害などの発達障害のある又はその傾向にある児童・生徒のため、特別支援教育支援員の研修の充実を図るとともに、支援員の人的拡充を図る取組は、障害者差別解消法のもとも軌を一にするもので、評者としても大いに歓迎するものです。

**4 教育環境の整備充実**

**平成 27 年度の主な取組**

能美市教育施策の大綱では、教育環境の整備充実について、以下のように施策を進めることとしています。

小中学校の校舎等の整備状況を踏まえ、体育館の耐震補強や改修工事等による学校施



設の安全性と機能向上を図ります。

小中学校の非構造部材（吊り天井等）の耐震化や老朽化等による不具合箇所の改修工事を実施し、安全でより充実した教育環境の整備を目指します。

◇浜小学校施設整備事業 （非常放送設備改修，電話機改修，防砂ネット改修）	4,781 千円
◇浜小学校非構造部材耐震補強事業 （建築，電気設備，監理）	55,404 千円
◇福岡小学校施設整備事業 （消防設備改修，屋上防水シート改修）	523 千円
◇福岡小学校非構造部材耐震補強事業 （建築，電気設備，監理）	107,558 千円
◇寺井小学校施設整備事業 （給食室ガス給湯器取替，給食室トイレ改修）	5,003 千円
◇湯野小学校施設整備事業 （給食室トイレ改修，体育館柵取替）	1,373 千円
◇湯野小学校非構造部材耐震補強事業 （実施設計）	2,916 千円
◇粟生小学校施設整備事業 （職員室等エアコン設置，音楽室前パーテーション設置）	4,862 千円
◇粟生小学校非構造部材耐震補強事業 （建築，電気設備，監理）	38,286 千円
◇辰口中央小学校施設整備事業 （給水管漏水修繕，プール漏水配管改修）	2,940 千円
◇辰口中央小学校非構造部材耐震補強事業 （建築，電気設備，監理）	82,232 千円
◇宮竹小学校施設整備事業 （理科室黒板改修，受水槽ライニング改修）	2,234 千円
◇宮竹小学校非構造部材耐震補強事業 （実施設計）	1,566 千円
◇和気小学校施設整備事業 （防球ネット設置，油配管改修）	1,997 千円
◇根上中学校施設整備事業 （火災報知設備取替，給食室手洗器取替）	2,783 千円
◇根上中学校非構造部材耐震補強事業 （実施設計）	3,402 千円
◇寺井中学校施設整備事業 （地下タンク液面計取替，消防設備改修）	1,930 千円
◇寺井中学校非構造部材耐震補強事業	2,592 千円

(実施設計)

- |                                   |            |
|-----------------------------------|------------|
| ◇辰口中学校施設整備事業<br>(地下タンク改修、消防設備改修)  | 2,646 千円   |
| ◇辰口中学校講堂建設事業<br>(建築・電気設備・機械設備・監理) | 444,837 千円 |

## 評価

- ・東日本大震災発生以降、全国的な懸案事項となっています学校施設の非構造部材（吊り天井等）の耐震化について、吊り天井を有する市内小中学校 9 校の体育館・講堂のうち、浜小学校、福岡小学校、栗生小学校、辰口中央小学校の 4 校の耐震工事を実施しました。H28 年度には湯野小学校、宮竹小学校、根上中学校、寺井中学校の 4 校の耐震工事を実施する予定であり、残りの 1 校についても順次、耐震工事を実施し、安全安心な学校施設の整備を図っていきます。
- ・市内全小中学校で唯一、学校専用の講堂が整備されていなかった辰口中学校に講堂を新築しました。これにより各種式典や体育の授業、部活動等での幅広い利用が見込まれ、生徒達の心身鍛錬や健全育成の場として、有効に活用される予定です。また H28 年度には講堂の外構工事や周辺の植栽工事を実施し、駐車スペースの確保や植栽による彩りが加わる予定です。
- ・市内の学校施設は昭和 40 年代のほぼ同時期に鉄筋コンクリート化が図られてきたため、建築から 40 年以上を経過した校舎・体育館が大半を占めており、老朽化対策が大きな課題となっています。順次、既存施設の老朽化対策工事を実施していますが、今後は老朽化対策工事に加え、建替えも検討対象とした中長期的な計画を策定し、計画に基づいた工事を実施していく必要があります。

## ○意見

昨年度も述べさせていただきましたが、学校は、児童・生徒が一日の大半を過ごす「学び、生活の場」としての「公の施設」であり、ましてや、通常備えるべき安全性を欠いた状態たる「瑕疵」があってはなりません。

学校施設などの教育環境は、単なる「容れ物」ではなく、主として児童・生徒のための教育空間、安心安全な空間、教職員にとっての「教育という崇高な使命を実際的に果たす」空間でなければなりません。さらに、地域の災害等の非常時には、地域住民のための「避難所」、「生活の拠点」となる場合があることから、空調整備、多目的トイレ等の整備に可能な限り取組まれるよう期待するとともに、施設の経年変化による老朽化に対しても計画的に対応してくださるようお願いしています。

## 施策 2 青少年の健全育成

青少年の心豊かな人間性を育む地域形成を目指し、地域・学校・家庭が相互に連絡・協力し、地域活動の体験・研修を推進します。

## 1 青少年教育

### 平成 27 年度の主な取組

#### ◇ 青少年健全育成事業（551 千円）

- ・ 各種会議
  - ◇ 青少年健全育成センター運営協議会の開催
- ・ パトロール
  - ◇ 夏休み期間中及び九谷茶碗まつり、七夕まつり、辰口まつりの際にパトロールを実施
- ・ あいさつ
  - ◇ 市内小学校5年生にあいさつ標語を募集  
403作品の中から入賞作品を決定【最優秀賞（8名）優秀賞（8名）】  
最優秀賞作品については看板を作成し、各小学校に掲示

#### ◇ 心の教育関連事業（457 千円）

- ・ ふれあいあいさつデー
  - ◇ 毎月 15 日を「あいさつデー」とし、各町で公民館、学校 P T A を中心に実施
  - ◇ 9 月 1 日（火）～7 日（月）を強化週間として平日 5 日間に開催（延べ約 3,953 人が街頭に立つ）
  - ◇ あいさつデー啓発ポスターは辰口中学校 2 年生 中山 古都乃さんの作品を採用
- ・ 野外体験
  - ◇ 教育部門と福祉部門とが連携し、結成した児童・子育て専門部会が主催する、親子野外活動「夏のわくわくドキドキ企画☆クワガタ、カブトムシを探せ！みんなで昆虫探検隊！」を開催しました。本活動は、昆虫採集を通して、子どもたちのたくましい豊かな心とからだを育てることを目的とした活動です。  
親子 11 組 28 名が参加し、子どもから大人まで自然の中でいきいきとカブトムシやクワガタなどの昆虫を探して楽しんでいました。また、参加者を 5 つのグループに分け、ゲーム方式で昆虫採集を行うことで、他の親子ともふれあう機会ができたと思います。

### 評価

・毎月 15 日を「ふれあいあいさつデー」とし、あいさつ運動を実施することによって、小・中学生の規範意識を高めています。15 日以外にも、自主的にあいさつ運動を実施している町会・町内会もあり、市民の中で心の教育をあいさつからはじめるといった意識がみえてきています。

・能美市のお祭り（根上七夕まつり、九谷茶碗まつり、辰口まつり）と子供たちの夏休み期間中に、パトロールを実施しています。実施中に声かけを行うケースは、稀に

ある程度なので、今後は時間帯の変更や、人数の再構成を検討する必要があります。

・親子 11 組 28 名を対象に、親子野外活動を実施しました。人と自然と交わる機会を与えることで、子どもたちに外で遊ぶことの大切さを教えられる良い活動になったことがうかがえます。

・今後は、さらなる子どもの健全育成を目指すため、親子対象のイベントを実施し、みんなで協力しながら、いきいきと体を動かすことで、たくましく豊かな心の子どもの育成に努めていきます。

#### ○意見

次代を担う青少年を非行から守り、より健全な方向へと育てることは、先行する世代たる大人の役割です。能美市では、「心の教育は、あいさつから」という考えのもと、あいさつ運動が、毎月 15 日の「ふれあいあいさつデー」だけではなく、地域一円に広がりつつあるという状況をうかがい知ることができます。

野外体験活動については、東西に広がる能美市辰口地区、寺井地区、根上地区それぞれが有する自然的特徴や施設の持ち味等を活かしながら、実施可能性ある内容を関係者間でご検討いただけましたら、という思いです。

### 施策 3 生涯学習の推進

市民一人ひとりの生きがいや心の豊かさを実現するため、学習環境づくりや公民館活動などを核とした連帯と活力ある地域づくりを推進します。

#### 1 これからの国際化社会の中で活躍できる人材の育成と国際化の推進

##### 平成 27 年度の主な取組

##### ◇国際交流員招致事業（1,703 千円）

8 月まで国際交流員を招致し、国際理解や多文化共生社会の推進に努めました。

##### ◇国際交流推進事業（1,755 千円）

###### ・国際交流イベントの開催

市内小学生を対象にハロウィン、イースターを体験するイベントを実施。海外の文化を体験するロシア風新年会を設けました。

###### ・外国語講座、日本語講座の開催

国際交流に必要とされるコミュニケーション能力をつける外国語講座として、国際交流員および国際交流担当による英語講座初級、ENGLISH ONLY CLASS、ロシア語講座初級、国際交流サロンを開催しました。

市内在住・在勤の外国人を対象に日本語講座を開講しています。

###### ・ジャパンテント

世界様々な国と地域から石川県を訪れた 300 人の留学生と県民との交流を深める

「第 28 回 J A P A N T E N T - 世界留学生交流・いしかわ 2015」が開催されました。

本市では 16 ホストファミリーが 22 名の留学生を 3 泊 4 日の日程で受け入れました。九谷焼絵付け体験，辰口まつりのじょんから踊りコンクール参加等“能美市ならではの”のプログラムで留学生をもてなしました。

・ボランティア通訳

外国人市民の生活を支援することを目的として「能美市ボランティア通訳登録制度」を実施。4 言語・23 人の登録があり，市内学校や家庭訪問などへ派遣しました。2 月には，登録者を対象に「能美市医療通訳基礎研修会」を開催しました。

◇関連団体交流活動等支援（230 千円）

市内の国際交流活動を行う 2 団体（能美市日中友好協会，N o m i 国際交流協会）に対し，活動補助金を交付しています。

**評価**

国際交流員および国際交流担当が中心となり，市民が交流国の文化に触れる機会や国際交流に必要なコミュニケーションツールとして英語を学ぶ場を創出し，国際理解推進の機会を整えています。

日本語教室は市内全域で外国人住民に日本語を学ぶ機会を創出しています。また，言葉が通じないことで発生している，市内外国人の生活の不便を解消するために，平成 25 年度「能美市ボランティア通訳登録制度」を制定しました。今年度は，学校での個人面談や就学相談による利用が増えています。登録者にとって能力を発揮できる機会を提供するだけでなく、登録者同士や他市の CIR，国際交流協会員との交流の場を創出しています。

国際理解活動を推進し、国際感覚の醸成と国際化に対応できる人材の育成に努めていきます。

○意見

国際化が進む中で，think globally, act locally という考え方は基本的なことかと思えます。そういう機会や場をいかに提供するかという中に，国際交流員の招致，国際交流イベント，外国語教室，日本語教室講師養成講座，通訳ボランティア登録などの事業が位置づくのではないかと思います。今を生きる者に，未来に生きる者に，いかなる国際的な感覚や感性が求められるのか，そして，今，何ができるのだろうか，というようなことについては，地道な経験の積み重ねと検討が期待されるのではないだろうかと思えます。

## 2 生涯学習活動

### 平成 27 年度の主な取組

◇まなびフェスタ 2016 (786 千円)

日 時 平成28年2月21日 (日) 午後1時から

会 場 根上総合文化会館 根上学習センター

趣 旨 市民が一体となってまちづくりをしていくためには、市民一人ひとりが地域社会の構成員として自主的に活動し、実践していくことが重要です。本会は、市民がお互いに話し合い、体験する中から新しいまちづくりが推進されることを目的としています。

#### ◆分科会 (6 つの分科会…266 名参加)

身近な生活課題がテーマで、子供から大人まで参加できる分科会を募集し、今年は6つの分科会を設けました。市民の皆様に分かりやすく興味を持ってもらう為に「聞いてみたい!」「体験してみたい!」という分科会を目指して運営しています。

##### No.1 分科会

「さあ、一緒にノルディックウォーキングを始めましょう!」

～ウォーキング以上、ランニング未満～

##### No.2 分科会

「楽しく短歌を作ってみませんか」

##### No.3 分科会

「プロに学ぶイタリアン&和スイーツ」

##### No.4 分科会

「終活」 を学ぶ 実践編

～相続を体験してみよう!初めての遺産相続ワークショップ～

##### No.5 分科会

「農と食の交流会」 ～作る人、食べる人、集まれ!～

##### No.6 分科会

「みんなで築ろう 親子で積み木遊び」

～なにができるかな…わくわく・ドキドキ～

#### ◆お試し体験講座 (4 つのお試し体験講座…111 名参加)

文化活動を気軽に体験し、生涯学習への一層の興味、関心を持っていただきます。興味を持ったことを、実際に見て聞いて話して身体を動かし、最後に「来て良かった」「楽しかった」と言ってもらえることを目指しています。

##### No.7 お試し体験講座

「ホストファミリーのための英会話」

No. 8 お試し体験講座

「大人の理科教室」

～マイナス 200℃の世界～

No. 9 お試し体験講座

「ペン習字」

No. 10 お試し体験講座

「重ねて、並べて、エコバックデコ」

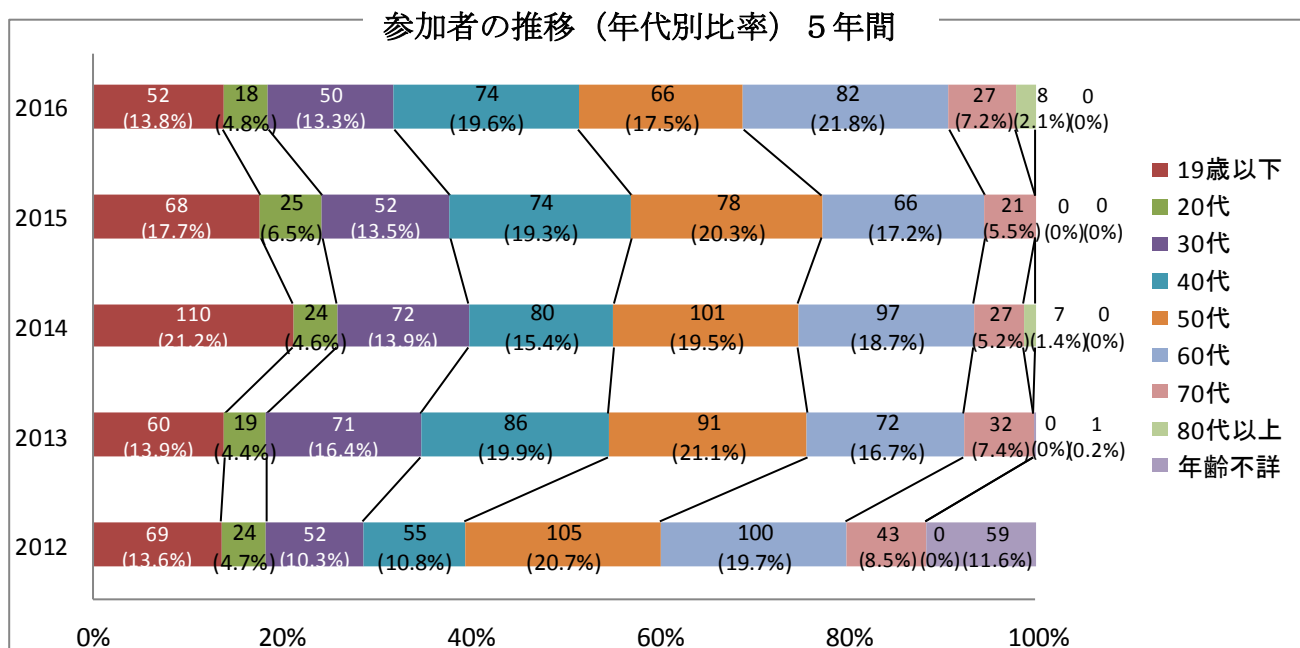
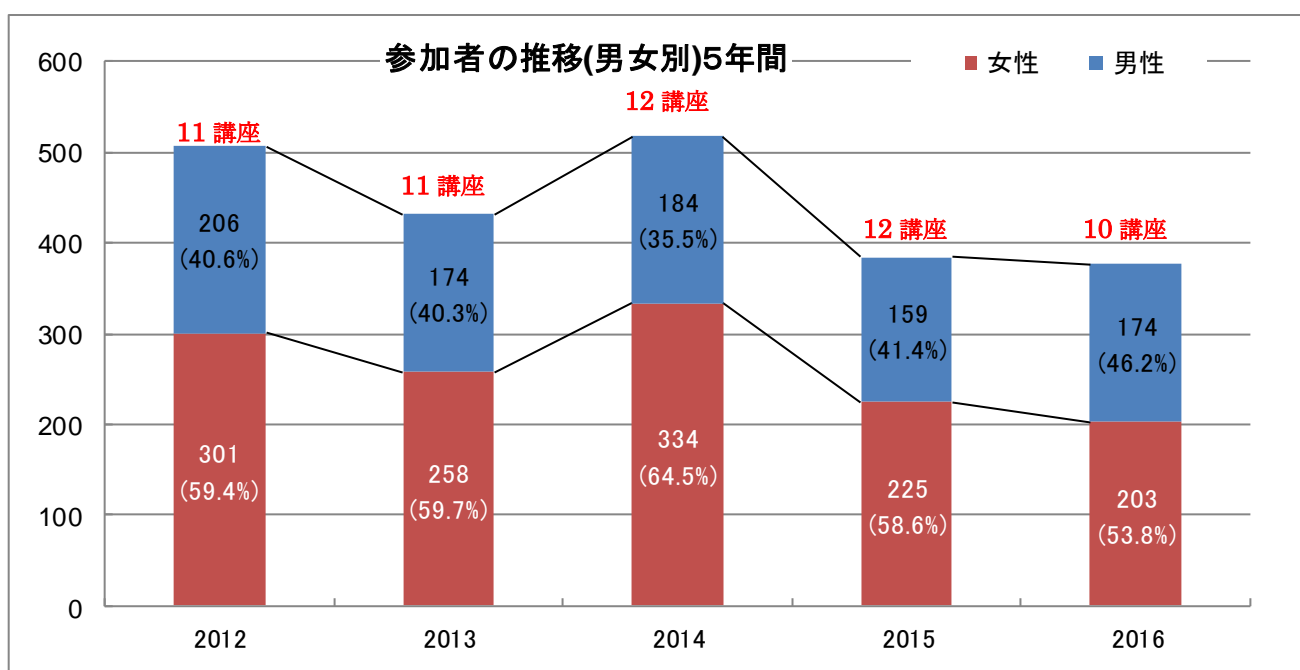
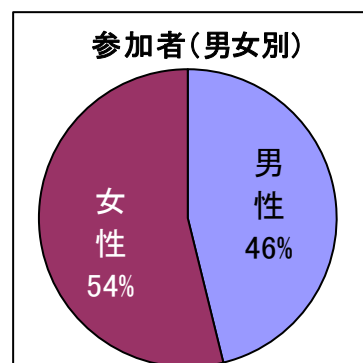
◆分科会成果発表

各分科会が、当日に行った内容を5分間にまとめて発表を行いました。

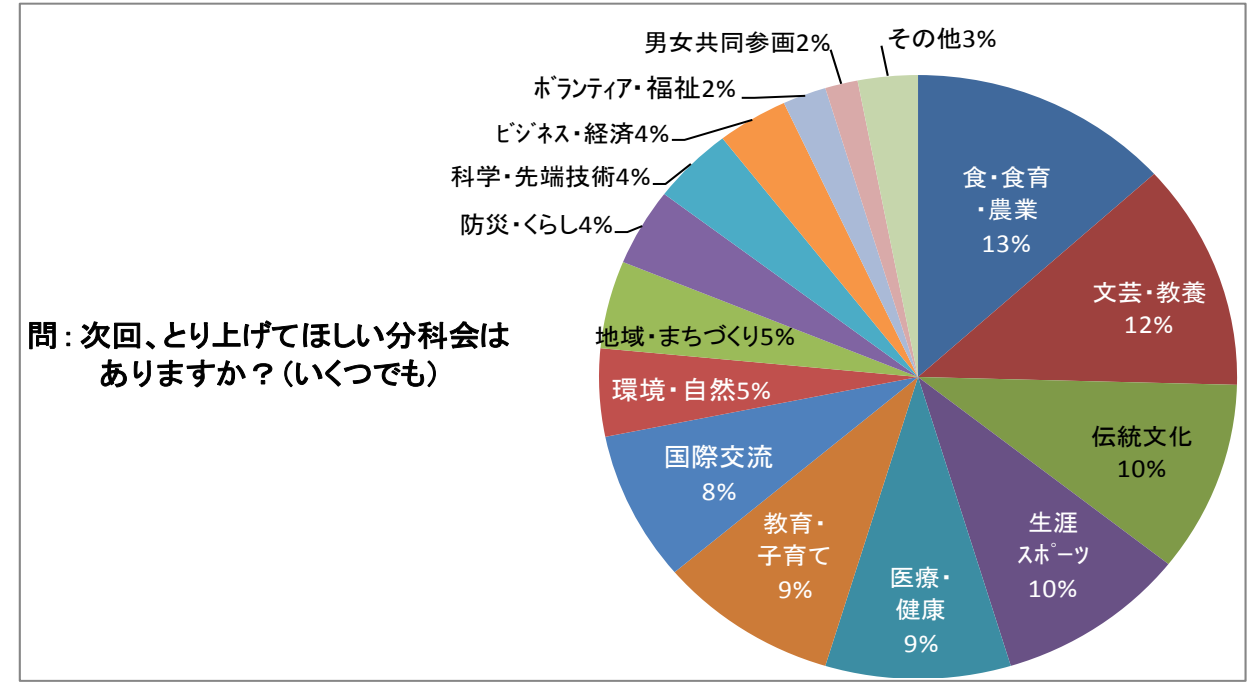
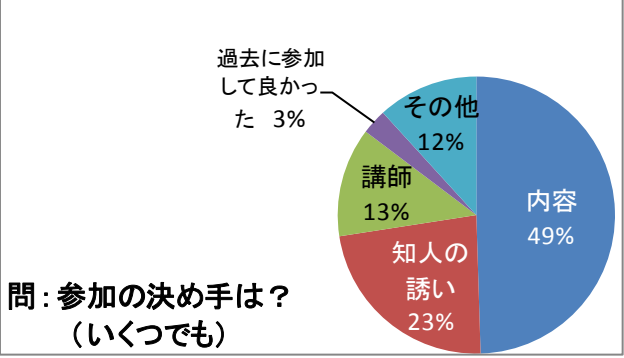
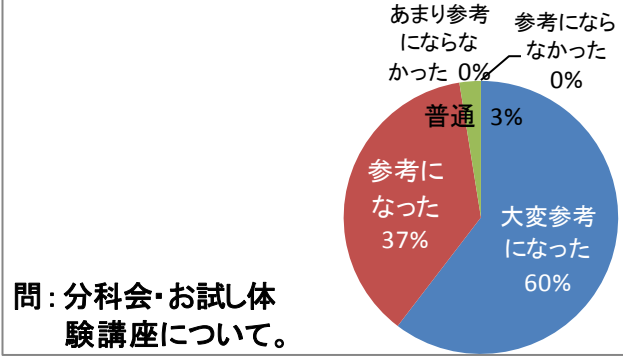
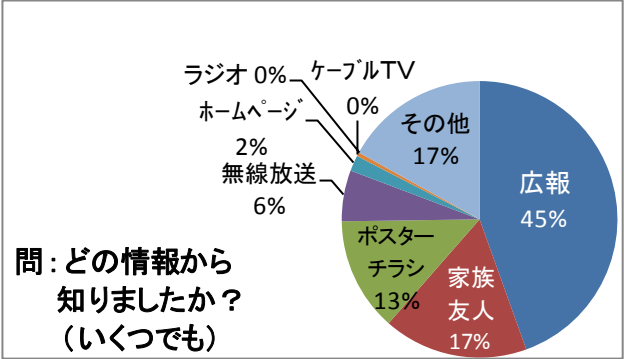
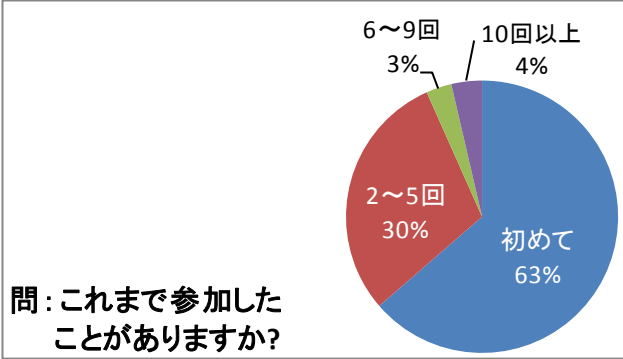
◆参加者アンケートより

- ・体験型の分科会は、参考になるし、体が動かせるのは良かった。まなびフェスタは、より幅広い世代が参加されるように工夫されている。今後も楽しみになる企画を期待している。
- ・事前の宿題付という参加型の分科会で、とても楽しかった。フェスタだけで終わらず、月1回勉強会が今後行われるということで、まさしく生涯学習だと思った。
- ・具体的な人の役について、考え、話をする事で、現実感があり、話に集中しやすかった。
- ・保育園で、娘が体験したものを親も一緒に体験できることになり、大変楽しかった。今日は娘が先生になった気分で色々教えてくれ、普段と違ったコミュニケーションがとれてとても良かった。
- ・英語だけでなく、能美市の地域のことや、日本の伝統文化についても改めて考える機会となった。
- ・年に一度でも、日常と少し違う環境に身を置いて様々な体験ができることがすばらしい。開催準備に困るほど、たくさんの市民の参加を期待したい。
- ・久しぶりにじっくりゆっくり自分のために価値ある時間を使うことができた。

No.	分科会	人数	No.	お試し体験講座	人数
1	スポーツ	66	7	英会話	12
2	短歌	33	8	理科教室	23
3	イタリアン&和スイーツ	28	9	ペン習字	19
4	終活	29	10	エコバックデコ	57
5	農と食の交流会	47			
6	積み木	63			
分科会 合計		266	お試し体験講座 合計		111
合計					377人







**評価**

○まなびフェスタ

今年は参加者の対象年齢を限定した会もありましたが、まなびフェスタ全体では年配の方から小さいお子様まで参加できる内容になっており、昨年度は参加者が0人だった80代の方にもご参加いただきました。

地元で活躍している講師の方々から、食や運動などの身近なテーマを学ぶことで、暮らしに結び付いた学びとなったことを期待します。

何事も最初の一步から始まります。市民と行政が対等の立場で、互いの役割を果たしながら目標に向けて連携し、市民一人ひとりが地域社会の構成員として自主的に活動し、実践していくことが重要です。

「まなびフェスタ」では、市民が話し合い、体験する機会を創出し、市民のまちづくり意識を高めることで、「協働型まちづくり」の推進を目指します。

#### ○意見

まなびフェスタは、地域住民の「学び」をメインにした交流の機会であるとともに、日々の学習の成果の発表の機会でもあります。「学びの成果を活かした社会参加を」とよく言われますが、フェスタを一つの目標に位置づけながらも、単なる一回性のイベントとしてではなく、「協働のまちづくり」という目的にいかに関近づけるのか、という視点からの検討を引き続き願っています。

### 3 公民館活動の推進

#### 平成 27 年度の主な取組

##### ◇成人式(1,753 千円)

成人の日を迎える若者を祝い励ますと同時に、社会の一員としての自覚を深め、社会に羽ばたいてくれることを期待して開催しました。

開催日 平成 28 年 1 月 10 日（日）

会場 根上総合文化会館

時間 10 時開式

参加者数

地区	性別	実参加者数	参加対象者数	参加率
根上	男	104 人	83 人	79.8%
	女	105 人	84 人	80.0%
寺井	男	100 人	86 人	86.0%
	女	96 人	85 人	88.5%
辰口	男	89 人	77 人	86.5%
	女	81 人	71 人	87.6%
計	男	293 人	246 人	83.9%
	女	282 人	240 人	85.1%

##### ◇立志式 (236 千円)

14 歳の少年・少女に、自ら将来に臨んで志を立て、次代を担うものとしての誇りと自覚、さらにこれを実践するための健康な心身をつくることを目標に持たせるため、実施しました。平成 26 年度も 3 中学校同時に開催しました。

○式典

日 時：平成 28 年 2 月 8 日（月） 14：00～  
開 場：根上総合文化会館 音楽ホール「タント」  
参加人数：根上地区 175 名  
          寺井地区 214 名  
          辰口地区 168 名       計 557 名

○記念講演

講 師：横田 幸子 氏（フリーアナウンサー）  
演 題：「あなたが変われば未来が変わる」

◇総合文化祭

〈展示部門〉（305 千円）

日 程 文化協会：10 月 31 日（土）～11 月 3 日（祝・火）  
      一般展示：11 月 6 日（金）～11 月 8 日（日）  
会 場 文化協会：根上総合文化会館，根上学習センター，寺井図書館  
      一般展示：根上総合文化会館  
内 容 展示を 2 週に分けて実施しています。1 週目はいけ花，川柳などの市文化協  
      会作品。2 週目は地区公民館，CC 館，児童館，そのほか各教室，サークル  
      の作品を展示しています。

〈発表部門〉（730 千円）

○ジュニア文化発表会

日 程 10 月 28 日（水）  
会 場 根上総合文化会館音楽ホール「タント」  
内 容 市内小・中学校の児童・生徒が元気いっぱい合唱や演奏を披露しました。

○市民文化・芸能大会

日 程 11 月 7 日（土）  
会 場 根上総合文化会館音楽ホール「タント」  
内 容 市内の自治公民館及び市内で活躍しているサークル・団体がこの日のため  
      に練習してきた出し物を披露しました。

◇ 公民館活動(17,077 千円)

○自治公民館

・能美市自治公民館協議会

期日	行事名	会場
2月17日	能美市自治公民館協議会 役員会	寺井地区公民館
2月25日	能美市自治公民館協議会 総会	寺井地区公民館
3月11日	能美市自治公民館協議会 役員会	寺井地区公民館
4月15日	能美市自治公民館協議会 役員会	寺井地区公民館
6月25日	能美市自治公民館協議会 役員会	寺井地区公民館
7月4日	能美市自治公民館交流会ワールドカフェ 36名参加	寺井地区公民館
9月1日～7日	ふれあいあいさつデー(強化週間)	市内一円
9月9日	能美市自治公民館協議会 役員会	寺井地区公民館
11月7日	第11回能美市民文化・芸能大会 18公民館参加	根上総合文化会館
11月8日	能美市自治公民館協議会 視察研修会 16名参加	県立歴史博物館等

・根上地区自治公民館協議会

期日	行事名	会場
1月22日	根上地区自治公民館協議会 総会	八松苑
4月23日	根上地区自治公民館協議会 館長会	根上総合文化会館
5月24日	第11回スポーツフェスティバル in ねあがり	浜小学校グラウンド
6月6日～14日	花いっぱい運動	根上地区
6月20日	根上地区自治公民館協議会 視察研修会	富山市東岩瀬町
7月25日	根上七夕まつり「踊りの夕べ」コンクール	根上総合文化会館 駐車場周辺
8月26日	根上地区自治公民館協議会 館長会	根上総合文化会館
11月7日	第11回能美市民・文化芸能大会	根上総合文化会館
12月10日	根上地区自治公民館協議会 館長研修会	根上総合文化会館

・寺井地区自治公民館協議会

期日	行事名	会場
2月6日	寺井地区自治公民館協議会 総会	クアハウス九谷
6月6日	寺井地区自治公民館協議会 視察研修会	寺井グラウンドゴルフ場
6月28日	寺井地区さわやかグラウンドゴルフ大会	富山市岩瀬方面
7月12日	寺井地区クリーンデー	寺井地区町内一円
8月27日	寺井地区自治公民館長・体育部長会	寺井地区公民館
10月4日	第11回スポーツフェスティバル in てらい	寺井小グラウンド
10月11日	第11回寺井地区一周駅伝競走大会	寺井地区各町内一周

11月7日	第11回能美市民・文化芸能大会	根上総合文化会館
12月9日	寺井地区自治公民館協議会 館長会	南月（小松市）

・辰口地区自治公民館協議会

期日	行事名	会場
2月11日	平成27年度辰口地区自治公民館長会 総会	辰口福祉会館
6月7日	辰口地区自治公民館長会 視察研修会	富山県黒部市周辺
10月4日	第11回スポーツフェスティバル in たつのくち	物見山陸上競技場
12月5日	辰口地区自治公民館長会(秋季研修会) 出前講座	辰口福祉会館

○地区公民館

・根上地区公民館

期日	行事名	会場
2月26日	第1回根上地区スポーツ協議会	根上総合文化会館
5月24日	第11回スポーツフェスティバル in ねあがり	浜小学校グラウンド
5月31日	国際交流サロン in 能美 2015	根上総合文化会館
7月25日	根上り七夕まつり「踊りの夕べ」コンクール	根上総合文化会館周辺
8月5日	第2回根上地区スポーツ協議会	根上総合文化会館
11月7日	第11回市民文化・芸能大会	根上総合文化会館

・寺井地区公民館

期日	行事名	会場
4月8日	第1回寺井地区公民館運営委員会	寺井地区公民館
6月29日	寺井地区市民さわやかグラウンドゴルフ大会	寺井グラウンドゴルフ場
6月29日	三世代ふれあい子ども体験まつり	寺井地区公民館
7月13日	寺井地区クリーンデー	寺井地区一円
10月4日	第11回スポーツフェスティバル in てらい	寺井小グラウンド
10月11日	第11回寺井地区一周駅伝競走大会	寺井地区一円
10月25日	さわやかジョギング大会 2015	和田山周辺コース
11月8日	第11回市民文化・芸能大会	根上総合文化会館
11月24日	第2回寺井地区公民館運営委員会	寺井地区公民館
12月20日	国際交流サロン in 能美「お正月リース作り」	寺井地区公民館

・辰口地区公民館

期日	行事名	会場
6月18日	能美市でホテルを見よう！「ホテルの観察会」	ふるさと研修センター
8月7日	夏休み、手作り工作体験教室「本棚をつくろう」	能美市立博物館

9月27日	国際交流サロン in 能美 2015『考えよう, 防災』	北陸先端科学技術大学院大学
10月4日	第11回スポーツフェスティバル in たつのくち	物見山陸上競技場
平成28年3月19日	平成27年度、体験教室 しいたけの植菌	能美市立博物館

## 評価

### ○公民館

公民館は、生涯学習の拠点として様々な事業を実施しています。公民館には、大きく分けて地区公民館と自治公民館があります。

地区公民館は、自治公民館間のコーディネーター的な立場として、自治公民館同士の結びつきを強める役割を担っています。その具体的な活動として、地区公民館で開催する事業の情報を提供したり、自治公民館からの情報を集約したり、懇談会や研修会などを開催することがあります。

自治公民館は、町内単位や小学校単位で活動しているところもあり、地域コミュニティ形成に必要な存在になっています。今後は、地区公民館を中心に、自治公民館同士の交流をさらに強め、市内一丸となって地域を元気にすることが求められます。

### ○成人式

成人式を一会場で開催するのは2度目となりました。大きな問題はなく、厳粛なうちに終了することができました。成人式は実行委員制度を採用しており、新成人の中から実行委員を選び、式典を運営しました。実行委員の他にも、企画や受付協力者を募り、新成人の力で成人式を盛り上げる形となりました。その他にも実行委員は、恩師からのビデオメッセージの作成、保育園から中学校までの思い出を写真としてまとめたスライドショーの作成にも取り組みました。

### ○立志式

立志式は、14歳の少年少女が、自ら将来に臨んで志を立て、次代の社会を担う者としての誇りと自覚、さらにこれを実践するための健康な心身をつくることを目標に、青年への新しいスタートに立つ日を「立志の日」として祝い、励ますものです。

式典中に行った「立志の言葉」では、立志者の代表らしく力強い誓いの言葉を述べられました。式典後の記念講演についても、講師である横田幸子氏が「あなたが変われば未来が変わる」という題目で、ご自身の人生について講演され、生徒にとってこれからの人生について考える良い機会を作ることができました。

### ○文化祭

文化祭事業は、発表部門と展示部門に分かれています。

発表部門では、文化協会や市内小・中学校の児童・生徒、市内の自治公民館及びサークルが、日頃の練習の成果を発表しています。文化祭での発表を各団体の目標として設定することにより、練習にも意欲的に取り組むことができます。また、他の団体と合同で発表会をすることにより、団体間での連携が深まっています。

展示部門では、文化協会、各地区公民館での開催教室、児童館、コミュニティセンターなどが、展示に向けて作品を製作しており、文化的な活動を推進するものとなっています。

期間中に開催されているお茶席や将棋大会では、参加者が体験することもでき、見る以外の楽しさも含まれる事業となっています。

また、作品の展示や体験教室が、教室の宣伝効果となっている団体もあり、講座や教室への参加者を増やすための良い機会となっています。

#### ○意見

公民館は、地域住民に対し学びの機会を提供するとともに住民の学びの成果を生かす舞台を提供する地域コミュニティの施設であり、地域づくり・まちづくり、ひいては地域創生に寄与する施設でもあります。地域住民が「集い」そこで「学び合い」そして住民が「つながり合う」「結び合う」役割が期待されています。そういう意味において、単に学びの機会を提供するだけではなく、社会教育施設としての意図的な学びの場をいかに創出するかという視点に立ち、実施している事業を見直すことも必要になってきていると思います。まずは、市内の3つの公民館がそうした事業を一つでも取り組んではいかがでしょうか。要するに「攻め」の社会教育実践です。

地区公民館が自治公民館間のコーディネーター機能を発揮するとともに当該地域の自治公民館への情報提供や必要な助言等を行い、市民の生涯学習活動の裾野の拡がりにさらに尽力してくださるよう期待いたします。さらに、前年も指摘したことでありますが、可能であれば、地区公民館に社会教育主事有資格者を配置するなどについてもご検討いただけたら、と思います。

昨年度も述べさせていただきましたが、成人式や立志式は人生の一つの区切りであるとともに、新たな自分のスタートの意味を持つ儀式であり、自らの成長を振り返りながら未来に向かって歩むことを厳粛に意識する機会でもあります。実行委員会形式による成人式で、企画・運営に携わった委員だけではなく式典協力者の自分育てになったであろうし、恩師からのビデオメッセージや思いで写真のスライドショーなどを通じて「成人」としての自覚を深める機会になったものと思います。

また、立志の機会も進路を改めて考える14歳の少年少女にとって自分を客観視する機会となったのではないのでしょうか。

展示と発表の2部門を設けた総合文化祭事業も、市民の日頃の活動の発表、交流の機会であり、参加者の生きがいややりがいを育てる機会になるものと思いますが、学びの裾野の拡がりや学びの成果を地域社会の中で生かす可能性についても、今後の検討を期待いたします。

## 4 社会教育施設の運営

◇市立図書館（128,465千円）

図書館の運営方針に基づき、3館（根上・寺井・辰口）連携し、子どもから大人まで市民誰もが読書を通じて生涯学習を深められる場として、地域に根ざした図書館づくりをめざしました。

### 平成27年度の主な取組

○図書館資料の貸出及び資料収集事業

- ・幅広い市民の読書要求に応える図書資料等の選定及び蔵書構成と 3 館の持ち味を生かした資料収集。

(根上図書館：ビジネス書 寺井図書館：美術資料 辰口図書館：郷土資料)

- ・利用者登録・貸出・返却・予約・レファレンス等の業務の実施。

◎利用状況（平成 28 年 3 月末統計）

- ・蔵書数 392,764 冊
- ・登録者数 40,570 人
- ・貸出者数 120,440 人
- ・貸出冊数 501,823 冊

#### ○読書活動の推進事業

図書館利用のきっかけをつくり、より多くの市民が図書館を利用できるような講座やおはなし会等を企画、運営を行いました。

◎講座・講演（古典講座・短歌入門講座・まちづくり出前講座）

◎年代に応じた児童サービス（ブックスタート・保育園や児童館への出前おはなし会・乳幼児向けのおはなし会など）

◎保育園・小中学校との連携（小中学校へのブックトーク・保育園や小中学校への移動文庫・小学 1 年生の図書館招待・読書スタンプラリーなど）

#### ○啓発・広報事業

図書館通信の発行（月 1 回）・時事の話題をテーマにした展示・年齢別図書リスト配布などを行いました。

### 評価

- ・図書館運営方針に基づき、3 館連携し「地域や住民に役立つ図書館」を旨として事業を実施しました。
- ・幅広い市民の読書要求に応えるために、選書やレファレンス対応などの図書館サービスの充実を図り、また見やすく、興味を引く配架の工夫など読書環境を整えることに努めました。
- ・児童サービスについては、「第 2 次能美市子ども読書活動推進計画」を基に取り組みました。
- ・昨年までの利用拡大事業については、各館の事業の中で継続して行うこととし、新たな利用拡大につながる事業について、図書館全体で検討していくこととしました。
- ・各図書館それぞれの活動のほか、読書スタンプラリーや講座、展示等で合同での開催事業を増やしました。
- ・職員の専門的力量的向上を図るため、全員参加の職員研修を行いました。
- ・図書館事業の参加者は増加していますが、図書館利用の貸出人数、貸出冊数とも減少傾向にあります。図書館の実施するサービスについて、市民全体に伝えるための情報発信を工夫する必要があると考えます。



## ○意見

市内の根上，寺井，辰口の各図書館が、「地域や住民に役立つ図書館」を目指し，連携しながら事業を実施したという評価は適切であると思います。主として活字媒体を通じて，「知」を提供するとともに，地域の産業の活性化，地域課題の解決，活力ある地域づくりや地域創生に寄与することも「地域や住民に役立つ図書館」像でもあるように思います。そうしたことを視野に置きながら，レファレンスサービスだけではなく，レフェラルサービスにも力を注いでくださることを期待いたします。

## ◇根上総合文化会館（123,462千円）

能美市の文化交流拠点と位置付け，利用促進に向けたさまざまな事業を行っています。特に日本で初めて可動音響底を採用した本格的なシューボックス型の音楽ホール「タント」では，市，市教育委員会の主催事業をはじめさまざまな催し物が年間を通して開催されています。

## 利用状況（平成27年度）

年間利用件数	2,744件（平成26年度	2,709件）
年間利用者数	122,869人（平成26年度	129,587人）

## 評価

市内外の企業，学校，生涯学習活動団体等から，会社説明会，展示・発表会，練習，講座を開催する際にご利用いただいています。

また，平成25年度よりこれまで2箇所に分散されていた教育委員会の機能を集約した能美市根上分室として教育行政の中核としても活用されています。

根上総合文化会館主催事業として，映画上映会，演歌コンサート，オーケストラ・アンサンブル金沢の演奏会等幅広い演目のイベントを開催しました。また，親子で楽しめる朗読イベントを行った際に出演者による朗読ワークショップを行いましたところ，非常に多くの参加希望があり，利用者の皆様にも文化交流の芽が広がってきたのかと感じました。

なお，根上総合文化会館も開館して20年を超えましたが，今年度も幅広い世代に喜んでいただくため，収集したアンケート結果を基に改善や創意工夫をし，取り組んでいます。利用者の皆様のご愛顧に感謝するとともに，これからも利用者の満足度が上がるような利用環境の向上，広報活動に努めます。

## ○意見

「タント」として親しまれている根上総合文化会館が，学校，企業，様々な機関・団体，市民，行政等の市内外の様々な主体により講演，研修，展示，説明，発表，演奏会等の場として利活用されていることは承知いたしております。今後とも，利用者や市民の皆さんのアンケート等による「声」を丁寧に拾い上げ，ニーズや期待に応えることのできる事業展開を期待いたします。

#### ◇根上学習センター（35,081千円）

宇宙といん石をテーマとした「子ども宇宙科学室」、茶室「松海庵」、「国際交流サロン」のほか「根上図書館」を含め多様な生涯学習の場の複合施設として、幼児から高齢者までが集い学習や交流が深められるよう推進します。

#### 平成 27 年度の主な取組

児童・生徒の科学に対する興味、関心を高めるため、主催事業においては金沢大学准教授を指導顧問に、また、教職員、星の会、根上いん石に関係する皆様には委員として、主催事業の企画運営について検討していただき事業を実施しました。

- 1 本市には自動車のトランクに落下した根上いん石があることから、市内全校小学4年生を対象とした「星空といん石学習」、中学3年生を対象とした「いん石講演会」、プラネタリウムでの星空学習などをおして、はるか遠き宇宙を身近に感じ、ひとりでも多くの児童・生徒に宇宙への関心を持っていただけるように努めました。
- 2 おもしろ科学教室、おもしろ理科教室、ガリレオクラブ等の各種教室をとおして身の周りにある多くの不思議に気づき、発見させる機会を持っていただき、ひいては学校教育の一助になればと、指導される先生方を中心にそれぞれの教室の運営に力を注いできました。また、プラネタリウムを使つての星空教室、当センター屋上での望遠鏡を使つての星空観察会は、子どもから高齢者までの方々を対象に、星の会の皆様が星空の解説を行いました。
- 3 夏休み期間にはサイエンスフェスタと銘打ち、小学校の先生方による科学の実験、実演、「科学の館・屋台店」、科学の遊び「手づくりミュージアム」、根上いん石の展示など、工夫を凝らした企画を行い、子どもたちに科学をより身近に楽しく感じてもらえるように努めました。また、放射性廃棄物の処分方法等について、原子力発電環境整備機構のコミュニケーション3Dシアター「ジオ・ミライ号」の1日展示により学ぶことができました。
- 4 根上総合文化会館で女性宇宙飛行士山崎直子氏を迎えて開催した「能美市合併10周年・根上いん石誕生20周年記念事業」は、いん石の街に相応しく満席となりたくさんの質問が飛び出すなど、これからの子どもたちに大きな夢を与えてくれました。

#### 評価

施設は市民の交流の場や生涯学習の場として研修室や教室が有効に使用されており、今後も施設の活用が十分に図られるよう努めていきたいと思ひます。

主催事業は、子どもたちにとって楽しみながら学べるよい機会であり、それぞれの教室をとおして子どもたちの科学への興味、探究的な態度を育てることは、身の周りにある多くの不思議発見と感動へ繋がるものでありますが、残念ながら実施テーマによっては参加者の減少が見受けられます。

参加者の増加に向けた取り組みとしては、保護者の理解と周知が大事であり、問題点の掘り起しと周知への方策など、主催事業企画運営委員会のご意見を頂くとともに、これからも指導者の確保に向けた新たな人材の発掘に努め、事業運営に繋げていきたいと思ひます。

## ○意見

様々な学習機能の複合施設としての根上学習センターですが、特に科学への関心を育てるため本学教員を顧問に招聘してその知見を生かそうとする取組、さらに金沢大学市・町共催講座として実施している「いん石講演会」の開催についてもありがたく思います。科学に対する興味や関心の高揚に資するため、おもしろ科学、おもしろ理科、ガリレオクラブ等の各種教室や星空観察会などの企画や実施にあたっては何かとご苦勞がおありかと思いますが、大学や市民の皆さんの協力を得ながら、その活動の範囲をさらに広げるとともに学びの深まりに努められますようお願いしています。

## ◇根上青年の家（10,143千円）・・・H27度

青少年やその他の団体の集団宿泊訓練や共同学習の場として、規律ある活動を通して安全な人間教育を図る施設として多くの方々に利用されています。

又ロシア、シュレホフ市との姉妹都市交流や、根上中学校と韓国培材中学校と姉妹校交流の場として、多くの市民に楽しまれています。

### 平成27年度の主な取組

- 1 施設は老朽化し、時代の流れに対応できませんが、建物の部分的な修理・改修を実施し、少しずつ不都合な部分の改善をして、利用者に安全で安心のある場を提供できるよう努めました。
- 2 主催事業を企画しましたが、日程と内容が悪かったのか、申込み者がなく実施できませんでした。

### 評価

施設は「集団宿泊訓練や、共同学習の場」として利用されています。

子どもたちが「想像力や、協調性、思いやり」ある心を高めていけるように、今後とも主催事業の企画運営に努力し、施設の活用が十分に図られるよう努めていきたいと思えます。

## ○意見

青年の家は、引き続き青少年教育の施設として、集団宿泊訓練や共同学習の場として青少年の自主性や協調性の育成に努めてこられたことと思えます。施設の老朽化など、不利な状況下ではありましようが、適切な改修・整備を図りながらも事業内容の拡充を図り、少しでも利用率の向上に努められますようお願いしています。

## ◇青少年ホーム（3,410千円）

生涯学習講座やからだバランス塾、各種サークル活動の拠点として利用されています。

### 評価

主催事業の充実を図るとともに、生涯学習活動の場として利用拡大に努めます。

## ○意見

青少年ホームにおきましても、青少年の思いを把握するとともに可能な限り彼らに寄り添いながら、活動へのさらなる支援や利用者の拡がりを期待します。

また、ホームが校下の女性団体の地域における活動拠点として機能するとともに、利用者自らがセンターの在り方について考えてみる機会の設定も良いのではないかと思います。

## 施策4 芸術・文化の振興

文化財の保護・活用・継承と文化活動の奨励等により、芸術と文化の薫り高いまちづくりに向けて、文化意識の高揚を図ります。

### 1 文化財の保存と活用

#### 平成27年度の主な取組

##### ◇史跡能美古墳群及び埋蔵文化財総合活用事業（単独・継続事業・1,887千円）

###### ①史跡と花のコラボレーション

秋常山史跡公園（秋常山古墳群）の魅力さをさらに高め、観光資源としての積極的な誘客を図るため、園内及び周辺に四季折々の花を植える史跡と花のコラボレーション事業を平成23年度より行っています。

平成26年度は、地元秋常町、秋常町営農組合の協力を得て、隣接田1haに菜の花の栽培を行いました。4月初旬には見事に花を咲かせ、菜の花と桜、古墳の景色を見に史跡を訪れたことのない人々にも古墳へ足を運んでもらう機会を提供することができました。

また、平成23年度から栽培を行っている史跡公園内のアジサイも大きく育ち、今後、市内の名所として活用が期待されます。

###### ②菜の花フェスタの開催

4月19日（日）に秋常山史跡公園・秋常勤労者体育館を会場に能美市民環境ネットワーク・NPO法人エコ未来塾主催の“菜の花フェスタ in Nomi2015”を開催しました。菜の花の栽培をイベント誘致に繋げ、相乗的な誘客効果を図るもので、秋常山での開催は今年で4回目となります。会場では、環境をテーマとした様々なイベントが企画され、史跡の活用としては古墳ボランティアによる勾玉づくりや組みひも作りなどの古代体験を行いました。あいにくの雨模様でしたが、見事に咲いた菜の花を見に来場者は約2,500人を数え、史跡公園が多くの人で賑わいました。

###### ③秋常山古墳まつりの開催

9月23日（水・祝）に秋常山史跡公園を会場に“能美のまほろば 秋常山古墳まつり2015～灯りと音の夕べ”を開催しました。この祭りは、秋常山古墳群に眠る1,600年前の大王、巫女に秋の実りと収穫を感謝し、能美市の今後の繁栄を祈ることをテーマとしたもので、今年で4回目の開催となります。イベントのメインは、粟生小学校6年生による古墳儀礼の再現で、古墳時代の大王、武人、巫女、村人に扮した子どもたちが、夏

休みに自分達で作った土器を用いて、当時行われたであろう古墳での儀礼を演じ、古墳に眠る大王に感謝の言葉を述べました。儀礼が終わった後、古墳に並べたエコキャンドル 1,000 個に点火し、古墳のライトアップを行いました。陽が沈み暗くなった会場では、ライトアップされた古墳をバックに二胡の演奏やフラメンコのステージショーを催しました。5連休の最終日ということもあって参加者は約 800 名と例年より少なかったものの、春の賑わいとはまた異なる、古墳を中心に据えた幻想的で落ち着いたイベントとなりました。

#### ④古墳ボランティア活動

平成 23 年度より活動を行っている古墳ボランティアは現在 12 名を数え、古墳ガイドや歴史学習、各イベントでの古代体験指導などさまざまな取り組みを行っています。平成 27 年度は市内外から訪れる小学校の歴史学習や各種団体のイベントで古代体験の要望が多くあり、勾玉作りや火おこし体験など、子供たちが安全で楽しく学べるよう指導にあたりました。また、今年度は新たな試みとして「古代米作り」に挑戦し、田植えから収穫までを行い古代人のお米作りについて学んでいきました。収穫した古代米は古墳まつりで披露し、千歯こきでの脱穀体験コーナーも設けました。

#### ◇能美古墳群保存整備事業（補助・継続事業・33,700 千円）

郷土の貴重な歴史遺産である国指定史跡能美古墳群を適切に保存し、後世へ確実に継承するため、平成 26 年度に策定した保存管理計画書に基づき西山古墳群の公有地化を行いました。

#### ◇湯屋古窯跡群発掘調査事業（継続事業・2,000 千円）

湯屋古窯跡群は飛鳥時代の 7 世紀後半に操業した須恵器・瓦窯であり、これまでの調査で 5 基の窯が確認されています。なかでも B 支群 1 号窯は、須恵器と瓦を併焼した瓦陶兼業窯で、その瓦が国指定史跡 末松廃寺（野々市市）に供給されたことが明らかとなっており、白鳳期における古代寺院と密接に関わる生産遺跡として注目されています。

また、その他の須恵器窯も以後 9 世紀にかけて能美丘陵上で展開される能美窯跡群の前半期に属するもので、当地域における古代窯業生産の様相を解明するうえで重要な窯跡として位置づけられます。

平成 24 年度より民間開発に伴う発掘調査を実施しており、今年度は A II 支群の範囲確認調査と、出土品の整理作業（接合、復元）を行いました。

#### 評価

##### 【史跡能美古墳群及び埋蔵文化財総合活用事業（単独）】

- ・菜の花畑と開花期に合わせて実施したイベントにより、古墳群の周知と活用を図ることができました。
- ・菜の花の栽培を地元へ委託したことで、地元市民に史跡への理解と愛着を深める機会となりました。

- ・古墳ボランティアの定着とともに、古代米作りなど新たな試みも見られ、史跡を核とした活動の幅が広がってきました。
- ・今後の課題としては、活用事業も4年目を迎えイベントのマンネリ化など活動の停滞を招かないよう工夫していく必要があります。
- ・情報発信の方法にまだ弱さがあるため、さまざまな情報媒体を検討し、より幅広い層、地域を対象にした宣伝を行う必要があります。

#### 【能美古墳群保存整備事業】

- ・能美古墳群の公有地化を進めたことで、史跡の適切な保存と管理が図られるようになりました。
- ・今後の課題としては、公有地化をさらに進めるとともに、能美古墳群の具体的な整備活用計画を策定する必要があります。

#### 【湯屋古窯跡群発掘調査事業】

- ・郷土の貴重な埋蔵文化財について、遺跡や出土品の基礎的なデータを得ることができました。
- ・今後の課題としては、得られた調査成果や出土品の公開方法を検討する必要があります。

#### ○意見

秋常山史跡公園及びその周辺における史跡と花のコラボ、菜の花フェスタ、古墳まつりなどの開催、さらにこれらへの古墳ボランティアの参加協力などの取組は貴重なものと理解します。率直に申すなら古墳群は、派手さやきらびやかさからは遠く離れた存在かもしれませんが、古に生きた人類の活動や生きる術に思いを馳せながら、文化や暮らし、工夫の様子などの変遷を考える機会を提供する場となっています。調査発掘から得られた成果をどのように市民の共有財産としていくのかという課題はあると思いますが、今後とも調査・研究を通じて当該古墳の歴史的、文化的、学術的価値を様々な方法で発信してくださることを期待します。

## 2 博物館の活動

◇展示・教育・普及活動 (1,236) 千円

### ①ギャラリー展示

月	展覧名	開催期間		来館者数
4	橘 映州 写真展 石川の野鳥	4月1日(水)	4月9日(木)	415
	折り紙の世界	4月11日(土)	4月19日(日)	467
	魅惑のネパール 写真展	4月24日(金)	4月29日(水)	333

5	こくぞう 植物画展	5月2日(土)	5月10日(土)	479
	寺 節郎 水彩画展	5月13日(水)	5月24日(日)	531
	辰口絵画クラブ 辰口の風	5月31日(日)	6月7日(日)	280
6	能美市美術作家協会 絵画部 作品展	6月12日(金)	6月21日(日)	408
7	夏季特別展 「知っとるけ 能美の昭和」	7月25日(土)	8月30日(日)	2334
9	フォトクラブ木場写真展	9月9日(水)	9月20日(日)	561
10	上出慎也 イラストの仕事 2014	10月10日(土)	11月8日(日)	1095
11	山野勝弥 油彩画作品展	11月20日(金)	11月29日(日)	393
12	Xマス フラワーアレンジ作品展	12月5日(土)	12月6日(日)	254
	館蔵品展 中川一郎・宮田耕二・山口操助	12月9日(火)	1月7日(木)	427
1	アンビエントルーム 虹マンダラ 戸田秀昭の世界	1月9日(土)	1月30日(土)	763
2	第12回 のみ写楽会 展	2月6日(土)	2月21日(日)	670
	こくぞう 植物画作品展	2月27日(土)	3月6日(日)	271
3	北國ネーチャーフォト 写真展	3月11日(金)	3月20日(日)	476
	嶋田ハルエと仲間たち	3月26日(土)	4月10日(日)	598

10,755名

## ②教育普及事業

ふるさと講座 対象：一般

回	期 日	テ ー マ	参加者
第1回	5月23日(土)	根上地区の文化財見学 講師：郷土史会会員	19
第2回	9月12日(土)	寺井地区の文化財見学 講師：郷土史会会員	14

第3回	10月17日(土)	辰口地区の文化財見学 講師：郷土史会会員	19
-----	-----------	-------------------------	----

52名

博物館講座など(辰口地区公民館との共催を含む)

講座名	期日	講師	参加者
自然観察会 能美の野鳥を楽しもう	5月第2土曜日 10回	日本野鳥の会石川支部 高 剋彦・高 文子	132
能美市でホテルを見よう ホテルの話と観察会	6月21日(日)	ふれあい昆虫館 技 師 石川 卓弥	50
知っとるけ 能美の昭和	7月25日(土)	能美郷土史の会 会 員 宮本 茂	36
おばあちゃんの知恵 刺し子を体験しよう	8月1日(土)	染色家 嶋田 ハルエ	15
木工体験 飾り棚をつくる	8月7日(金)	建具職人 永田 忍 地区公民館・博物館職員	60
夏休みこども工作 どこでも万華鏡	8月9日(日)	社会教育委員 辻 隆 ほか	25
キノコの植菌体験	3月19日(土)	能美の里山 ファン倶楽部会員 ほか	30組

### ③団体見学の受け入れ

学校教材 4月～5月 辰口中央小学校3年・6年 6クラス 186人  
7月 勝山子どもの森小学校 1クラス 30人  
1月～2月 市内・川北町、白山市の小学校 22クラス 670人  
回想法 77施設 701人 ⇒ 52施設 520人  
一般 15団体 201人 ⇒ 7団体 125人

### 出前講座

6月18日(木) 能美市の自然環境 中央小学校6年  
11月7日(土) 能美の昭和 佐野町  
3月10日(木) 能美の自然 松が岡

### ④博物館友の会

講演会・・・「泉鏡花と辰口温泉」(4月)「いしかわ動物園の夢」(1月)  
研修会・・・金沢 県立歴史博物館・泉鏡花記念館ほか(5月)  
高野山・京都国立博物館 他(10月)  
ボランティア・・・展示の巡視・菜の花フェスタ(4月)古墳まつり(9月)  
蟹淵の目視観察8回 除草、ミズバショウ撤去1回



◇調査・収集・記録事業 (237) 千円

① 生物生息調査

- ・蟹淵のミズバショウ撤去 (5月29日)
- ・山口海岸のコアジサシの産卵目視 (7月初旬)
- ・トミヨの保全作業・調査・専門家との協議 (5月末～3月)

② クリアファイル「白山曼荼羅図」の製作 600部

出前講座、夏休みクイズラリーなどで使用 一部販売 (100円)

◇ その他

のみでん広場のライトアップ

期 間：4月1日 (水) ～12 (日)

**評価**

ギャラリーの展示計画は、博物館の企画である夏季・秋季特別展示と冬場に開催の館蔵の美術作品などの展覧以外、15のグループによる展覧会が開催され、昨年度よりも多くの来館者を得ました。

特に夏季特別展示は、「知っとるけシリーズ」第3弾として、昭和30年代をテーマに展示しました。誰もがなつかしむ駄菓子屋さんを再現し、実際に買い物ができるようにしたので、図書館で勉強している子供たちが、休憩がてらに駄菓子を買って（買い食い禁止の中ではありますが）展示を見て、昭和30年代の空中写真で、自分の家を探す等、会場には多くの子供たちが遊び（学習）に来ました。電化製品がようやく普及し始める頃の、アナログの世界の不思議さ、楽しさを味わい、親世代や祖父母世代を誘って何度も足を運んでくれる子供たちが多くいました。

小学校3年生の教材として、冬季には、学校単位で見学に来ますが、「昔の暮らしの方が楽しい」「いろんな工夫がある」「無駄がない」などの感想を聞くと同時に、「ゲームで遊べないので、今が良い」など、感想が口ぐちに出てきますが、自分の知らない世界を体験できることで、笑顔で帰って行きます。

博物館の企画展示は、「こんなことがあったのか」「不思議に思っていたことが解決した」など、「今まで、わからなかったことを知る」ことができる展示にしていきたい。

教育普及活動は、例年の通りのものだったので、もうすこし工夫をしなければいけないという反省もありました。展示内容にあわせて、博物館だからできる活動、人寄せの仕掛けは必要だが、中身のある仕掛けで、来館者を多くしていかなければいけないことを痛感しました。

博物館の開館以来、町史編纂や生物調査報告書など、学芸員の専門でない自然分野も手掛けてきましたが、特に自然環境の保全、調査については、継続的調査ができる仕組みを作っていかなければいけないと感じております。

さらに、近年、記憶遺産という言葉が聞かれますが、昭和9年の洪水、戦争、シベ

リア抑留体験などについても、地元での聞き取り調査をできる限り実施していく必要がありますし、指定文化財以外の記憶遺産に対しての案内板の設置、かつて行われていた地域の年中行事などの記録や復元も今後進めていきたいと考えています。

また、町史や生物生息調査報告書、文化財報告書、能美市内に関する冊子などのデジタル化を行い、インターネット上で公開し、誰もが利用できる（オープン化）ことが今後の課題となります。

#### ○意見

博物館は、教育的配慮のもと、歴史、芸術、民族、産業、自然科学などに関する博物資料を収集、保管、展示、研究等の活動を通じて地域住民に社会教育的影響を与える教育の機関です。

能美市博物館は、年間を通してギャラリー展示、ふるさと講座、博物館講座、見学受け入れ、友の会活動などを通じた事業により博物館としての機能と役割を発揮しようとしていることをうかがい知ることができます。

今後とも、テーマの設定に基づき企画展の検討や市内のいしかわ動物園等との連携事業などの実施など、創意・工夫ある事業の展開を期待いたします。また、評価欄記載のような今後の取組の可能性についても、これを具体化できるようご努力くださることを願っています。

### 3 文化振興

#### 平成 27 年度の主な取組

##### ◇文化連盟・協会（4,200 千円）

文化活動を行う各種団体相互の連絡を図り、相提携して文化向上に寄与することを目的とします。加盟協会は計 38 協会。

##### ◇民俗芸能保存伝承（620 千円）

郷土芸能の保存・伝承に取り組むことにより、後継者の養成、地域社会の活性化、世代間交流の回復に寄与することを目的とします。保存会は計 15 団体。

#### 評価

- ・文化連盟・協会への補助を行うことで、経済基盤が脆弱な団体の活動が活発になっています。文化祭や美術展、発表会などで市民に成果を発表することで、市民の文化意識が向上しています。
- ・小中学生対象に年 2 回行っている席書大会や、市民からの作品を募集して発刊する文芸能美など、連盟・協会員以外の方が参加できる機会をもうけることにより、市全体の文化発展に寄与しています。文芸能美は発刊第 10 号となりました。文化活動を通じての市の発展と活性化がますます期待されます。
- ・民俗芸能保存会への補助を行うことで、教室や練習会を開催できています。研鑽した日頃の成果を能美市の祭りやイベントなどで積極的に披露することで、伝統文化

を守り伝えています。

#### ○意見

文化は、地道な活動の継続により花開くという側面を持っていることから、市の文化連盟・協会加盟 38 団体や民俗芸能保存伝承 15 団体への支援は、当該組織・団体の活動基盤の強化や市民の間に文化的雰囲気醸し出していることは紛れのないことでもありますので、引き続きの予算措置等を願っています。

### 施策 5 生涯スポーツの推進

市民の運動やスポーツのニーズに応じ、市民一人ひとりが自己の生活や目的にあった形で、スポーツを楽しむライフスタイルの構築を目指し、誰もが気軽にスポーツやレクリエーションなどの運動に親しめる、安全で効果的なスポーツの環境づくりを積極的に進めました。

#### 1 競技スポーツの充実・強化

##### 平成 27 年度の主な取組

◇県民体育大会への選手派遣 (5,567 千円)

七尾市を主会場に能登地区で開催された「石川県民体育大会」に能美市を代表して参加する選手を派遣するための補助を行いました。猛暑の中、熱戦が繰り広げられ、男子は過去最高に並ぶ総合 5 位、女子は総合 6 位と健闘しました。

◇能美市民体育大会 (663 千円)

広く市民の間にスポーツを振興し、スポーツ精神の高揚と選手の発掘と育成強化を図ることを目的に、6 月を中心に市内各施設を利用して開催され、今年度は 26 競技が開催され、その運営補助を行いました。

◇全日本競歩能美大会 (11,866 千円)

アジア最高峰の大会である「アジア陸上競技選手権大会 20km 競歩」を兼ねるとともに、「第 10 回日本学生 20km 競歩選手権大会」を併催し、「第 31 回オリンピック競技大会(2016/リオデジャネイロ)代表選手選考競技会」にも位置付けられた大会に 8 部門計 366 名のエントリーのもと開催された大会の運営費として補助を行いました。今大会において、男子一般の部で東洋大学の松永大介選手が優勝し、派遣設定記録を突破したためオリンピックの出場が決定しました。また、女子中学生の部では地元石川県の田鶴浜高校に所属する和田歩美選手が優勝を収めました。

期 日 平成 28 年 3 月 20 日 (日)

場 所 能美市営 20km 公認 (2km 周回) コース

◇第 58 回全国銃剣道能美大会 (1,200 千円)

地方で開催される唯一の銃剣道競技の全国大会として、全国各地から自衛隊や一般、

高校生の精鋭が集まる大会です。平成 27 年度は全国から 176 チーム、1,034 名が出場し、団体の部、個人の部でそれぞれ日本一を目指しました。

競技自体が特殊なことから、市銃剣道協会が中心となり開催され、大会運営の補助を行っています。

## 評価

県民体育大会への選手派遣及び市民体育大会については、競技力の向上強化や市民のスポーツ競技への関心と振興を図るためのその運営費として、能美市体育協会へ補助金として交付しているものであります。県民体育大会は、前回大会中止の雪辱を晴らすかのように、男子は過去最高に並ぶ総合 5 位、女子は総合 6 位と好成績を収めました。次回大会は能美市を主会場に開催されることもあり、「能美市」を発信できる機会でもありません。早い時期から競技力強化を行ない、前回大会以上の好成績を収め、「能美市」をアピールできるよう、今後も連携・支援を行う必要があると考えます。

全日本競歩能美大会及び全国銃剣道大会は、全国大会でありながら特殊性のある競技でもあり、馴染みの薄い競技ではあるものの、競技レベルは非常に高いものとなってきました。昨年全日本競歩能美大会で、地元松が岡出身の鈴木雄介選手が世界新記録を樹立したことにより国内外から非常に注目の置かれる大会となりました。また、選手や大会関係者からは、能美市の大会運営や応接について、高い評価を得るなど能美市の知名度アップに大きく貢献しています。その他にも、全国から集まる選手から、大会運営やふるまい鍋など好評を得ています。

これまで、市民が大会に関われる仕組みづくりや競技の周知方法が課題となっていました。そこで平成 27 年度より、競歩にヒントを得たウォーキング法である「スマートウォーク」を考案し、市民への普及を目指しています。競歩に準じた歩き方から、姿勢の矯正やケガ予防からの健康増進はもとより、競歩競技への興味関心を高めることをねらいとしています。

銃剣道大会については、全国でも数少ない銃剣道の全国大会でありながら、競技自体の知名度が低いことから、毎年周知しているものの、応援等で来場する人数が少なく、28 年度はさらに周知の徹底を行いたいと考えます。

## ○意見

県民体育大会や市民体育大会は、スポーツ活動に携わる方にとって、日頃行っている練習の成果を発揮する機会ですし、併せて「能美市」を発信する機会となるものです。さらに大会への参加や開催に向けた支援は、選手層の拡がり、国際大会で活躍するアスリートの育成やスポーツの普及、振興に寄与する面もあることから、今後とも継続的な取組みを期待いたします。

全日本競歩大会、銃剣道大会は、能美市にしっかりと定着した大会ではあります。競歩大会は、世界記録を樹立する場ともなりました。健康増進にも寄与する「スマートウォーク」の考案などは、市民の間での「競歩」の認知度を高めることになったのではないのでしょうか。

## 2 生涯スポーツの普及・振興

### 平成 27 年度の主な取組

#### ◇ジュニアスポーツクラブ活動（3,980 千円）

スポーツを通して健全な青少年の育成を図るとともに、各競技の技術力の向上及び底辺の拡大を図るため、市内 45 クラブの活動を支援しています。

また、各クラブ間の連携、交流や親睦を図るためのリーダー研修やスポーツ交流大会を開催、指導力の向上を目的に指導者研修会を開催し、クラブ全体の円滑な運営を図っています。

#### ◇高齢者健康クラブ活動（856 千円）

運動の機会の少なくなる高齢者の方々に健康、体力保持を目的として開催する教室であり、市内 3 クラブ約 146 名の高齢者が 3 会場に分かれ、ダンスや体操を行っています。県の交歓大会や普及育成会等に参加する等、3 クラブはもとより市外の高齢者クラブとも交流を図っています。

#### ◇スポーツ教室「からだバランス塾」(2,085 千円)

カラダバランス塾は、ふるさと振興公社に事業を移管し、子どもから高齢者まで幅広い年齢層によるニーズに答えた教室を開催され、市民は体力の向上、精神的ストレスの発散や生活習慣病の予防など、心身の両面にわたる健康保持増進を図りました。

### 評価

ジュニアスポーツクラブ活動については、競技力向上に加え、活動時間の見直しを図り、能美市が推進する「早寝・早起き・朝ごはん」運動に賛同し、夜間は 8 時 30 分までの活動とし、規則正しい生活習慣づくりを心掛け、健全育成を図りました。

また、助成金は市の財源と認識を持ってもらうために、用途を明確化することに努め、来年度以降の適正なクラブ運営ができるよう指導していきます。

高齢者健康クラブ活動は高齢者の人口が増えているにもかかわらず、会員数が減少傾向にあります。能美市内で多種の健康教室が開催されていることもあり、選択肢も増えていることが原因だと思われます。次年度は高齢者健康クラブでしかできない魅力を発信し、会員の増加に努めます。

「からだバランス塾」については、今年度からふるさと振興公社が運営し、講座の数を 26 講座に増設し、教室を開催しました。年齢・体力・興味・ライフスタイルに答え、バリエーション豊かな講座となり、参加者から好評を得られています。スポーツ課といったしましては、次年度以降もふるさと振興公社が単独に教室運営をできるよう、連携・支援を行う必要があると考えています。

### ○意見

子どもから高齢者にいたる多くの市民が、生涯にわたって自分なりに親しむことので

きるスポーツを持つことは、生きがいつくりや健康・体力づくり，生涯スポーツの普及・振興につながるものです。

ジュニアスポーツクラブ活動，研修会開催等への支援，高齢者健康クラブ活動への支援，さらにはスポーツ教室「からだバランス塾」の通年での開催など，今後とも生涯スポーツの裾野の広がりへの支援の継続は，地域団体の「育成」という視点からも大切なことと思われます。ただ，それぞれの組織そのものが，自ら主体的に参加者の裾野の拡大に努力することを自覚していくことは大切なことと思います。

### 3 スポーツ施設の整備充実

#### 平成 27 年度の主な取組

##### ◇能美市根上勤労者体育センター改修工事（建築）

- ・天井ブレース N=26 箇所
- ・軸ブレース N=6 箇所
- ・防水工事 N=1 式
- ・床改修工事 A=840 m<sup>2</sup>
- ・設備改修工事 N=1 式
- ・トイレ手すり設置 N=7 箇所
- ・玄関ロビー壁改修 A=40 m<sup>2</sup> 他

##### ◇能美市根上勤労者体育センター改修工事（電気）

- ・耐震補強工事 N=1式
- ・施設改修工事 N=1式
- ・天井照明改修工事 N=16個
- ・ライトコントロールスイッチ N=2個
- ・会議室電気設備工事改修 N=1式
- ・アリーナスピーカー新設 N=2個 他

##### ◇能美市寺井体育館改修工事（建築）

- ・天井ブレース設置工 N=1 式
- ・軽量化システム天井新設 A=1,129 m<sup>2</sup>
- ・内部改修工 N=1 式
- ・トイレ改修工 N=1 式
- ・多目的トイレ改修工 N=1 式
- ・北面 S D 取替工 N=2 箇所 他

##### ◇能美市寺井体育館改修工事（電気）

- ・既存天井照明撤去工 N=52 台
- ・天井 L E D 照明設置工 N=20 台
- ・自動火災報知設備改修工 N=1 式 他

◇能美市根上野球場照明塔解体工事

- ・照明塔解体 N=6 基 他

◇上記工事を含め 21 件の工事, 9 件の業務委託 (実施設計等) , 8 件の備品購入を実施

◎改修工事費総額 257, 578 千円

◎業務委託費総額 21, 402 千円

◎備品購入費総額 742 千円

**評価**

能美市根上勤労者体育センターは昭和54年度の建設以来大規模な改修を行っておらず, 施設の老朽化が進んでいたこと, また耐震性能も有してなかったことから, 耐震工事と併せ大規模改修工事を行いました。工事内容としては, 床は木製から体育館用フローシートに変更し, 従来の木製と比べクッション性が高く, ひざや腰への負担を軽減し, また, ささくれ等による怪我の防止を図りました。照明はLED照明へ変更し, 環境へ配慮するとともに, 電気代の削減を図っており, 男女トイレや更衣室も入口部の段差を無くし, 洋便器へ取替する等バリアフリー化され, 多目的トイレにはオストメイトを設置し, 障がい者や高齢者の方も利用しやすくなりました。

また, 能美市寺井体育館についても昭和44年度の建設以来大規模な改修を行っておらず, 施設の老朽化が進んでいたこと, また耐震性能も有してなかったことから, 耐震工事と併せ大規模改修工事を行いました。工事内容としては, 耐震化を図るため吊天井の軽量化, また免震構造を施し施設への影響の減少を図りました。照明はLED照明へ変更し, 環境へ配慮するとともに, 電気代の削減を図っており, トイレは洋便器へ取替する等バリアフリー化され, 多目的トイレにはオストメイトを設置し, 障がい者や高齢者の方も利用しやすくなりました。

根上勤労者体育センター, 寺井体育館ともに今回の耐震改修工事を行ったことにより, 災害時の避難施設として活用できるとともに, 利用者の利便性の向上, また安全安心に利用できるようになります。

次年度以降については, 市内各施設は設置後20年以上の施設がほとんどであり, 各施設において経年劣化による破損修繕及び改修が必要となっており, 今後計画的に改修し施設の延命化を図る必要があります。

また, 体育館の耐震改修工事や, 東日本大震災以降問題となっている非構造部材 (吊天井や天井照明等) の補強工事も計画的に進め, 施設利用者が安全で快適に利用できる施設整備を図るとともに, 災害時の緊急避難場所としても活用できるようにしていきます。

○意見

公の施設であるスポーツ施設の改修, 撤去, 整備, 補修などは必要に応じて, かつ計画的になされる必要があるかと思えます。スポーツの普及, 未来のアスリートの発掘や育成と関わったりする機会がないとも限りません。今後ともスポーツに親しむことの

できる施設設備の整備，備品の近代化にご配慮されますことを期待します。

**教育委員会会議及び教育委員の主な活動**

(1) 教育委員会会議

13 回開催 (開催日及び審議決定事項 下表のとおり)

{ 議事 32 件 }

(2) 平成 27 年度教育委員会会議開催状況

回 (開催日)	審 議 決 定 事 項
平成 27 年第 5 回 (H27. 4. 5)	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会事務局各課事務分担</li> <li>・平成 27 年度石川県教委連定期総会</li> <li>・平成 27 年度学校教育重点事項</li> <li>・スポーツ課行事の開催予定について</li> <li>・第 7 回能美市民綱引き大会</li> </ul>
平成 27 年第 6 回 (H27. 5. 12)	議案第 19 号 平成 27 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について 議案第 20 号 能美市社会教育委員の選任について 議案第 21 号 能美市文化財保護審議委員の選任について 報告第 1 号 能美市博物館協議会委員の選任について 報告第 2 号 能美市図書館協議会委員の選任について 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27 年度能美市立小中学校学年別人数・学級数、児童生徒数等推移</li> <li>・計画訪問、学校教育懇談について</li> <li>・平成 27 年度 NOMI フォローアップスクールについて</li> <li>・室井滋・長谷川義史「しげちゃん一座」絵本ライブショー</li> </ul>
平成 27 年第 7 回 (H27. 6. 11)	議案第 22 号 平成 27 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について 議案第 23 号 平成 28 年度中学校教科書等の採択について 報告第 3 号 専決処分の報告について 専決第 1 号 平成 26 年度能美市一般会計の教育関係補正予算の要求について 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27 年度能美市・シレホフ市少年使節団交流事業について</li> </ul>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育総務課 施設新築工事と耐震改修工事関係一覧</li> <li>・スポーツ課 施設耐震改修工事関係一覧</li> <li>・スポーツ課 事業予定について</li> </ul>
平成 27 年第 8 回 (H27. 7. 15)	<p>議案第 24 号 平成 27 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27 年度全国学力・学習状況調査能美市結果について</li> <li>・長期欠席・不登校・不登校傾向の児童生徒数（6 月状況）</li> <li>・第 67 回石川県民体育大会について</li> <li>・学校給食パンへの異物混入と供給停止について</li> <li>・いじめアンケート・Q-U アンケートについて</li> <li>・平成 27 年度石川県中学校総合体育大会について</li> <li>・伍代夏子演歌祭り</li> <li>・博物館夏季企画展「知っとるけ！能美の昭和」</li> </ul> <p><b>【教育委員からの意見・提言】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・増加傾向にある不登校の児童生徒数には、家庭環境の貧困や虐待等いろいろな背景が絡んでいることも考えられる。子どもたちを救えるよう地域ぐるみでつながることも大切である。</li> </ul>
平成 27 年第 9 回 (H27. 8. 21)	<p>議案第 25 号 平成 27 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>議案第 26 号 平成 28 年度中学校教科書等の採択について</p> <p>議案第 27 号 平成 27 年度能美市一般会計補正予算の教育関係予算の要求について</p> <p>報告第 4 号 専決処分の報告について</p> <p style="padding-left: 40px;">専決第 2 号 能美市体育施設管理運営規則の一部を改正する規則について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期欠席・不登校・不登校傾向の児童生徒数（7 月状況）</li> <li>・第 67 回石川県民体育大会 結果について</li> </ul> <p><b>【教育委員からの意見・提言】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校児童・生徒の把握状況ときめ細やかな学習サポート対応の継続を希望する。</li> <li>・インターネットの使用制限について</li> <li>・「早寝・早起き・朝ごはん」を更に浸透を図ってほしい。</li> </ul>

<p>平成 27 年第 10 回 (H27. 9. 25)</p>	<p>報告第 5 号 平成 28 年度使用中学校教科用図書等採択について 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査の結果及び結果の公表について</li> <li>・第 70 回国民体育大会出場選手について</li> <li>・スポーツフェスティバル in てらい・たつのくちについて</li> <li>・能美市ファミリーコンサートについて</li> </ul> <p><b>【教育委員からの意見・提言】</b></p> <p>学力調査結果の結果を教科別にみて、中学校の数学等は全国平均と比べてまあまあであっても、県平均を下回っていることが気になる。</p>
<p>平成 27 年第 11 回 (H27. 10. 26)</p>	<p>議案第 28 号 平成 27 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期欠席・不登校・不登校傾向の児童生徒数（9 月状況）</li> <li>・能美中学校新人大会結果について</li> <li>・「いしかわ師範塾」の視察研修について</li> <li>・加南地区教育委員会連絡協議会研究大会について</li> </ul> <p><b>【教育委員からの意見・提言】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「親になる」という気持ちが育っていない親の現状がある。学級懇談とは別に親の学習する機会があればよいのではないか。</li> </ul>
<p>平成 27 年第 12 回 (H27. 11. 25)</p>	<p>議案第 29 号 平成 27 年度能美市一般会計補正予算の教育関係予算について</p> <p>議案第 30 号 平成 27 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育施設「いしかわ師範塾」視察について</li> <li>・長期欠席・不登校・不登校傾向の児童生徒数（10 月状況）</li> <li>・歳末助け合い入札展について</li> <li>・第 6 回能美市キンボール交歓大会兼ジュニアスポーツクラブスポーツ交流大会について</li> <li>・平成 27 年度能美市立小中学校加配等配置状況について</li> </ul>
<p>平成 27 年第 13 回 (H27. 12. 24)</p>	<p>議案第 31 号 平成 27 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27 年度能美市教育委員会の点検及び評価報告書（平成 26 年度事業対象）について</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いしかわ師範塾」視察の順延について</li> <li>・第3子以降私立幼稚園保育料無料化補助金について</li> <li>・長期欠席・不登校・不登校傾向の児童生徒数（11月状況）</li> <li>・第52回歳末助け合い入札展結果報告について</li> <li>・文芸能美の配布について</li> <li>・第40回全日本競歩能美大会の開催日について</li> <li>・平成28年能美市成人式開催要項について</li> </ul> <p><b>【教育委員からの意見・提言】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期欠席・不登校生徒への進学や就職の支援について 高校進学で環境が変わると登校できるようになる場合もあるのではないか。個別の現状が把握できないが、中学校だけの問題ではないと思われる。</li> <li>・いじめ対策について 教育委員会を責めるばかりでなく社会全体で考えなければならない問題である。イライラ感や無感動なども全て関連しているのではないかと思う。</li> </ul>
<p>平成28年第1回 (H28.1.21)</p>	<p>議案第1号 能美市第3子以降私立幼稚園保育料無料化事業費補助金交付要綱について</p> <p>議案第2号 能美市私立幼稚園就園補助金交付要綱の一部改正について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いしかわ師範塾」視察実施について</li> <li>・長期欠席・不登校・不登校傾向の児童生徒数（12月状況）</li> <li>・能美市立小学校・中学校の卒業式・入学式の臨席について</li> <li>・就学援助費関係の基準等について</li> <li>・学校におけるいじめ問題について</li> <li>・平成27年成人式参加状況について</li> <li>・平成28年まなびフェスタ2016開催要項</li> <li>・第40回能美市耐寒継走選手権大会について</li> </ul> <p><b>【教育委員からの意見・提言】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校対策について 事例毎の要因を把握し、学校でできないことでも福祉等ともより連携して支援できるとよい。心の温かい教育委員会でありたい。</li> <li>・成人式は、落ち着いた式でよかった。しっかりと発言しており、今の若者のスタイルを感じた。</li> </ul>

<p>平成 28 年第 2 回 (H28. 2. 17)</p>	<p>議案第 3 号 平成 28 年度能美市一般会計の教育関係当初予算の 要求について</p> <p>議案第 4 号 平成 27 年度能美市一般会計の教育関係補正予算の 要求について</p> <p>議案第 5 号 平成 27 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定 について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・辰口中学校講堂完成式について</li> <li>・長期欠席・不登校・不登校傾向の児童生徒数（1 月状況）</li> <li>・能美市立小学校・中学校の卒業式について</li> <li>・まなびフェスタ 2016 について</li> </ul> <p><b>【教育委員からの意見・提言】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学期休み明けに不登校の生徒数が増えることは残念である。時 期的に進路についても案じられる。全国的なことでもあるので、 個別の要因が把握できなくても何か見えてくるものがあればよ いのではないか。</li> </ul>
<p>平成 28 第 3 回 (H28. 3 . 16)</p>	<p>選挙第 1 号 能美市教育委員会委員長の選挙について</p> <p>議案第 6 号 能美市立学校薬剤師の補充の選任について</p> <p>議案第 7 号 平成 27 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定 について</p> <p>議案第 8 号 能美市教育委員会委員長職務代理者の指定につい て</p> <p>議案第 9 号 能美市立小中学校管理職の異動内申について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期欠席・不登校・不登校傾向の児童生徒数（2 月状況）</li> <li>・能美市立小学校・中学校の入学式について</li> </ul> <p><b>【教育委員からの意見・提言】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校において正しい言葉を教えるなかで、短縮語や略語の日 常的な使用に対して注意が必要でないか。</li> <li>・義務教育が終われば教育が終わるわけではない。いつでも社会 が見守っているということが大切である。</li> </ul>

平成 28 第 4 回 (H28. 3 . 28)	議案第 10 号 能美市就学指導委員会規則の一部改正を改正する規則について 議案第 11 号 能美市体育施設管理運営規則の一部を改正する規則について 議案第 12 号 能美市第 3 子以降私立幼稚園保育料等無料化事業費補助金交付要綱の一部を改正する要綱について 議案第 13 号 能美市私立幼稚園就園補助金交付要綱の一部を改正する要綱について
------------------------------	--

(3) 教育委員の主な活動 (大会ほか各種行事など)

年 月 日	内 容
H27. 4. 1	事務局職員辞令伝達式
H27. 4. 5	第 5 回市教育委員会会議
H27. 4. 6	市内小学校・中学校入学式
H27. 4. 8	転入教職員着任式
H27. 4. 15	ふれあいあいさつデー
H27. 4. 19	菜の花フェスタ
H27. 4. 23	市体育協会総会
H27. 4. 28	石川縣市町教育委員会連合会理事会 (金沢市)
H27. 5. 12	石川縣市町教育委員会連合会定期総会 (金沢市)
H27. 5. 12	第 6 回市教育委員会会議
H27. 5. 17	第 66 回全国植樹祭
H27. 5. 18	寺井中学校計画訪問
H27. 5. 21	辰口中学校計画訪問
H27. 5. 22	第 1 回能美市総合教育会議
H27. 5. 22	第 11 回能美市民体育大会総合開会式
H27. 5. 23	能美中学校陸上競技大会
H27. 5. 24	スポーツフェスティバル in ねあがり
H27. 5. 29	第 2 回市議会定例会
H27. 5. 29	能美市いじめ問題対策連絡協議会
H27. 6. 3	第 2 回市議会定例会
H27. 6. 4	第 2 回市議会定例会
H27. 6. 5	能美中学校相撲大会
H27. 6. 11	第 7 回市教育委員会会議
H27. 6. 14	第 58 回全国銃剣道能美大会
H27. 6. 14	第 6 回能美市民綱引き大会
H27. 6. 17	宮竹小学校計画訪問
H27. 6. 19	第 2 回市議会定例会

H27. 6. 20～22	加賀地区中学校総合体育大会
H27. 6. 22	浜小学校計画訪問
H27. 6. 23	湯野小学校計画訪問
H27. 6. 27	室井滋・長谷川義史「しげちゃん一座」絵本ライブショー
H27. 6. 27, 28	県中学校陸上競技大会
H27. 7. 3	福岡小学校計画訪問
H27. 7. 4	粟生校下あいさつ大会
H27. 7. 8	ウォーキング教室（7/29までの毎週水曜日）
H27. 7. 13	辰口中学校講堂建設工事起工式
H27. 7. 14	青少年健全育成「南加賀ブロック会議」
H27. 7. 15	第8回市教育委員会会議
H27. 7. 17	市内小学校・中学校第1学期終業式
H27. 7. 18～20	県中学校総合体育大会
H27. 7. 24	学校教育懇談（辰口中学校）
H27. 7. 25～8. 30	夏季特別展「昭和の風景」
H27. 7. 25	講座「昭和の風景 こんなことが あってんと」
H27. 7. 27	学校教育懇談（根上中学校、和気小学校、辰口中央小学校）
H27. 7. 27	伍代夏子 演歌祭り
H27. 7. 28	学校教育懇談（寺井中学校）
H27. 7. 29	学校教育懇談（宮竹小学校、粟生小学校）
H27. 7. 30	学校教育懇談（浜小学校、湯野小学校）
H27. 7. 31	第67回県民体育大会能美市選手団結団式
H27. 8. 1～10	サイエンスフェスタ能美2015
H27. 8. 3	学校教育懇談（寺井小学校、福岡小学校）
H27. 8. 3	夏休み映画上映会（子供向け）
H27. 8. 4	県市町教育委員会連合会教育セミナー（金沢市）
H27. 8. 4～7	北信越中学校総合体育大会
H27. 8. 7	夏休み木工工作体験教室
H27. 8. 8, 9	第67回県民体育大会夏季大会
H27. 8. 19	学校教育懇談（辰口中学校）
H27. 8. 21	第2回総合教育会議
H27. 8. 21	第9回教育委員会会議
H27. 8. 23	スマートウォーキング教室
H27. 8. 23	北京世界陸上20km競歩 鈴木雄介応援会（パブリックビューイング）
H27. 8. 29	第34回加賀地区中学生意見発表大会
H27. 8. 30	夏休み席書大会
H27. 8. 30	市制10周年・根上いん石20周年記念事業（山崎直子氏講演会）

H27. 9. 1	市内小学校・中学校第2学期始業式
H27. 9. 1	第3回市議会定例会
H27. 9. 1	第2回石川縣市町教育委員会連合会理事会（金沢市）
H27. 9. 1～4、7	あいさつ強化週間
H27. 9. 3	第67回県民体育大会能美市選手団解団式
H27. 9. 8	第3回市議会定例会
H27. 9. 9	第3回市議会定例会
H27. 9. 12	ふるさと講座 寺井地区『ふるさと探訪』
H27. 9. 16～18	日本スポーツマスターズ2015石川大会ゴルフ競技
H27. 9. 17	第3回市議会定例会
H27. 6. 17	粟生小学校計画訪問
H27. 9. 19～22	日本スポーツマスターズ2015石川大会テニス競技
H27. 9. 23	秋常山古墳まつり
H27. 9. 25	第10回教育委員会会議
H27. 9. 26	能美中学校新人総合体育大会
H27. 10. 4	スポーツフェスティバル in てらい
H27. 10. 4	スポーツフェスティバル in たつのくち
H27. 10. 6	根上中学校計画訪問
H27. 10. 9	学びの組織的実践推進事業研究発表会（浜小学校）
H27. 10. 16	石川縣市町教育委員会連合会研究大会（川北町）
H27. 10. 19	和気小学校計画訪問
H27. 10. 23	人と地域を生かした道徳教育講座（湯野小学校）
H27. 10. 26	第11回教育委員会会議
H27. 10. 28	能美市総合文化祭（ジュニア文化発表会）
H27. 10. 31～11. 3	能美市総合文化祭（展示部門・文化協会）
H27. 11. 5	人と地域を生かした道徳教育講座（辰口中学校）
H27. 11. 6～8	能美市総合文化祭（展示部門・一般展示）
H27. 11. 9	寺井小学校計画訪問
H27. 11. 12	加南地区教育委員会連絡協議会研究大会（能美市）
H27. 11. 14	第8回子どもマイスター賞表彰式
H27. 11. 20	辰口中央小学校計画訪問
H27. 11. 25	第12回教育委員会会議
H27. 11. 23	第9回能美市ファミリーコンサート
H27. 11. 29	能美市キンボール交歓大会兼ジュニアスポーツクラブ交流会
H27. 12. 1	第4回市議会定例会
H27. 12. 4～6	第52回歳末助け合い入札展
H27. 12. 8	第4回市議会定例会
H27. 12. 9	第4回市議会定例会

H27. 12. 12	教育委員会視察研修（いしかわ師範塾）
H27. 12. 18	第4回市議会定例会
H27. 12. 24	市内小学校・中学校第2学期終業式
H27. 12. 24	第13回教育委員会会議
H27. 12. 27～30	根上中学校少年親善使節団韓国培材中学校派遣（根上中学校姉妹校）
H28. 1. 8	市内小学校・中学校第3学期始業式
H28. 1. 10	成人式
H28. 1. 13～16	寺井中学校韓国大徳中学校少年親善使節団受入（寺井中学校姉妹校）
H28. 1. 21	第1回市教育委員会会議
H28. 1. 22	小中連携授業研究会（NOMIばんぶー）授業公開（福岡・湯野・宮竹小学校）
H28. 1. 25	第3回石川県市町教育長会
H28. 1. 31	第11回能美市民体育大会 スキー競技
H28. 2. 3	平成27年度市町新任教育委員研修会（金沢市）
H28. 2. 8	立志式
H28. 2. 17	第2回市教育委員会会議
H28. 2. 18	平成27年度市体育協会表彰授与式
H28. 2. 20	いしかわ師範塾 視察
H28. 2. 21	能美まなびフェスタ2016
H28. 2. 29	第1回能美市議会定例会
H28. 3. 9	第1回能美市議会定例会
H28. 3. 10	第1回能美市議会定例会
H28. 3. 11	市内中学校卒業式
H28. 3. 16	第3回市教育委員会会議
H28. 3. 18	市内小学校卒業式
H28. 3. 20	第40回全日本競歩能美大会
H28. 3. 23	第1回能美市議会定例会
H28. 3. 24	市内小学校・中学校第3学期終業式（平成27年度終了式）
H28. 3. 28	教職員離任式
H28. 3. 28	第4回教育委員会会議

## 評価

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育全般にわたる職務権限を有する行政委員会として、委員自らが重要な責務を自覚しつつ、職務遂行に必要な知識の習得・研修に取り組みました。同法の改正に伴い、新たに能美市総合教育会議を開催し、市（行政）とともに教育課題や目指す姿について協議を行い、『教育施策の大綱』を策定しました。

多様化する教育ニーズに対応し、能美市教育行政の基本方針である『地域に根ざし 豊かな未来を拓く 人づくり』の実現に向けて教育の充実・振興に努め、市民にわかりやす



く教育委員会の活動を説明していくとともに、更なる教育行政の推進に努めています。

#### ○意見

この部分は、たぶん前年度の指摘と同様のものとなりそうですが、教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律上、およそ教育全般にわたる職務権限を有する行政委員会であり、定例会や臨時会において決すべき議案も多岐にわたっています。

周知のように、同法の改正で、総合教育会議が設けられるとともに、学校と地域社会との連携事業と言ってもよい学校運営協議会についても「置くことができる」と規定されています。これらについての自己点検・評価を付加しても良いのではないのでしょうか。

ところで、このたびの自己点検・自己評価報告書を拝見いたしましても、限られた予算をどの事業に何のために配分し、どのような成果が得られる可能性があるか、という自己分析、また事業遂行上、改善や見直しの方向についても真摯に向き合おうとする行政意思を感じ取りました。

教育行政による利益の享受者は、児童・生徒、教員、地域住民でなければならず、それはとりもなおさず能美市、県、ひいては国家社会の利益になるものと認識します。

もちろん、漫然と施策を遂行するのではなく、喫緊の課題については優先順位を高く設定して、重点的かつ可及的速やかに予算を配分するなどメリハリのある施策としなければなりません。

自己点検・自己評価をつうじて、地域住民に対する説明責任を果たすとともに、評価結果を新たな施策の推進に活かし、その利益を地域住民が享受できるような仕組みづくりに役立てていただきたいと思います。

加えて、教育再生実行会議の第6次提言にある「教育の力で地方創生を」という提起を、今後の能美市における教育全般のより良い発展といかに整合させるかという検討も教育事業を推進しながら並行して取り組まなければならない命題かもしれません。

なお、評者の指摘を正面から受けとめて平成28年度の施策の推進や事業の改善に取り組んでくださった事項については望外の喜びでもあります。そうした行政の姿勢に心からの敬意を表するものです。